

土木学会「見える化データ」 2011

土木学会が現在どのような状況にあるかを、目先の現象や各人の印象に捉われることなく、様々なデータを基にできる限り正確に把握し、それを踏まえて今後の方針を議論し、決定していくことは極めて大切である。また、その内容を学会員のみならず広く社会に公開し、開かれた学会として、より良い方向へと発展し続ける必要がある。

このような視点のから、土木学会では「90年誌」（土木学会略史1994－2004）作成を機に、各部門においてデータを継続的に整備することを行ってきた。そして、「JSCE2010」を策定するにあたり、このデータを企画部門に集約する体制を整え、「見える化」と称して学会の現況把握および公表に向けてデータを集約することとし、各項目の時系列変化を捉えてきた。ここでは、その中から特に重要なものを抜粋し掲載する。データ更新は毎年とし、理事会での報告の後、ホームページで公開する。また、5年ごとの土木学会の活動目標と行動計画（「JSCE20XX」）の策定の際には、この結果を再整理するとともに参考資料として掲載することとしている。

2011年7月15日現在

1. (学会の基礎数値)

土木学会組織図

会員区分別会員数

性別会員数

総収入と総支出

収支状況

図書館来館者数

支部行事開催数

支部行事参加者数

2. (学術講演)

年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移

年次学術講演会 部門別講演数の推移

年次学術講演会 部門別講演数の推移(1996年を1.0とした場合)

土木学会論文集 掲載数

土木学会論文集 掲載数(1997年を1.0とした場合の推移)

土木学会論文集 投稿・掲載・返却数

土木学会賞 表彰件数

調査研究部門 委員会活動参加者数

3. (社会とのコミュニケーション)

記者発表数

ホームページの閲覧状況

論説一覧

国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

新刊数と刊行物売上額の推移

4. (社会への直接的貢献)

トークサロン参加者数

イブニングシアター参加者数

技術者資格 認定者数

CPD認定プログラムの推移

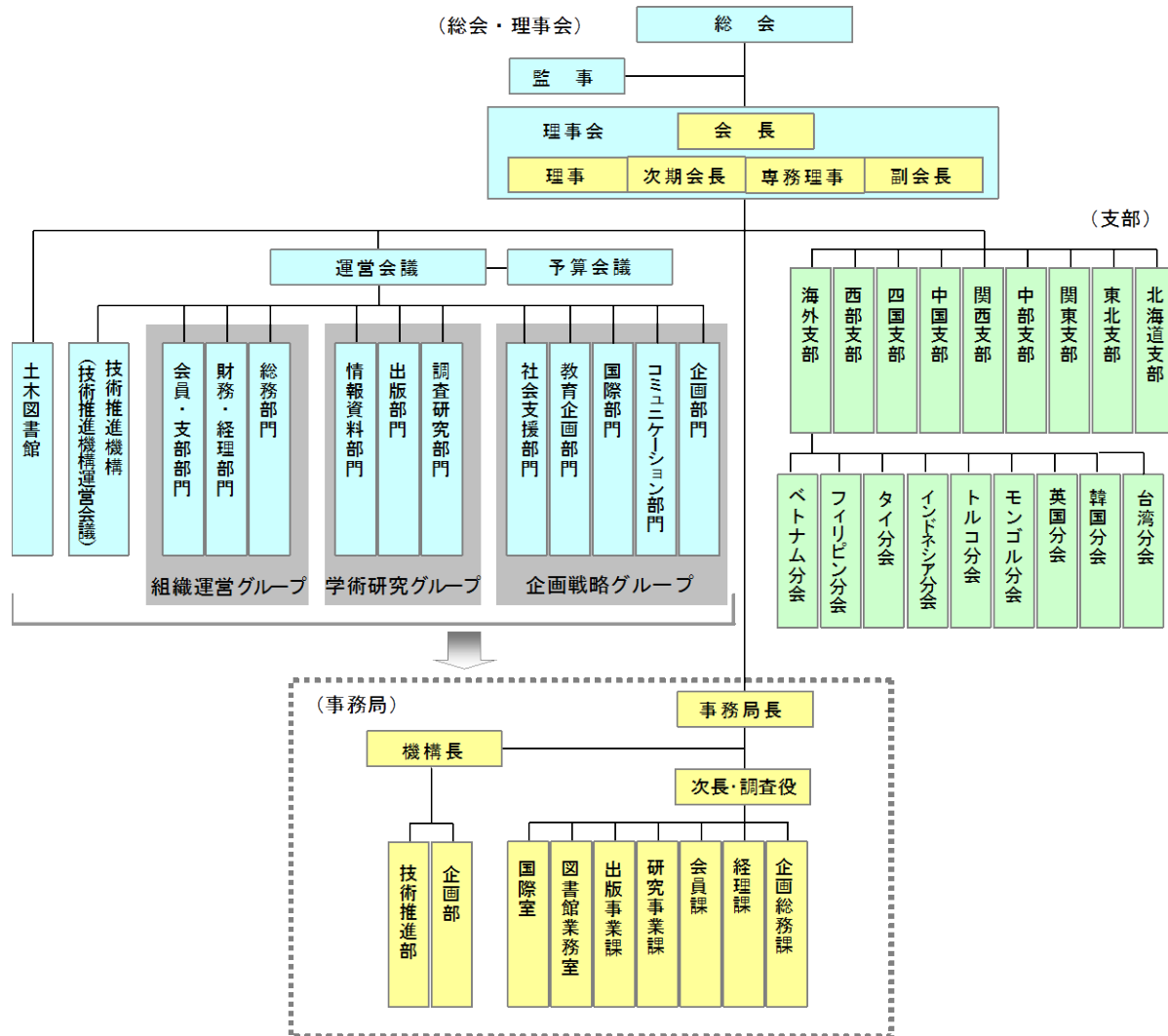
災害調査団派遣実績

小中学校学習支援

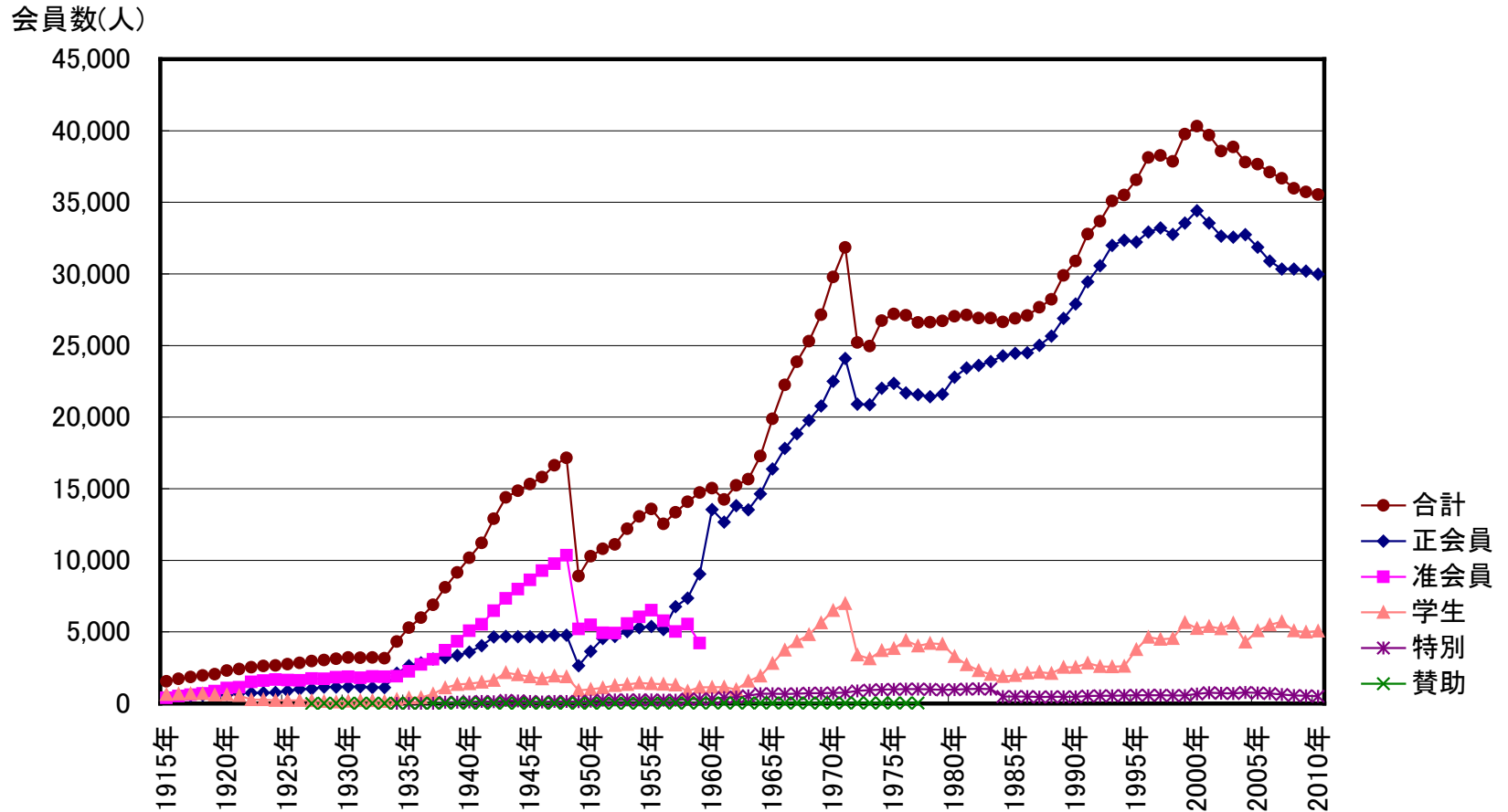
土木学会組織図

土木学会機構図

(2011年5月現在)



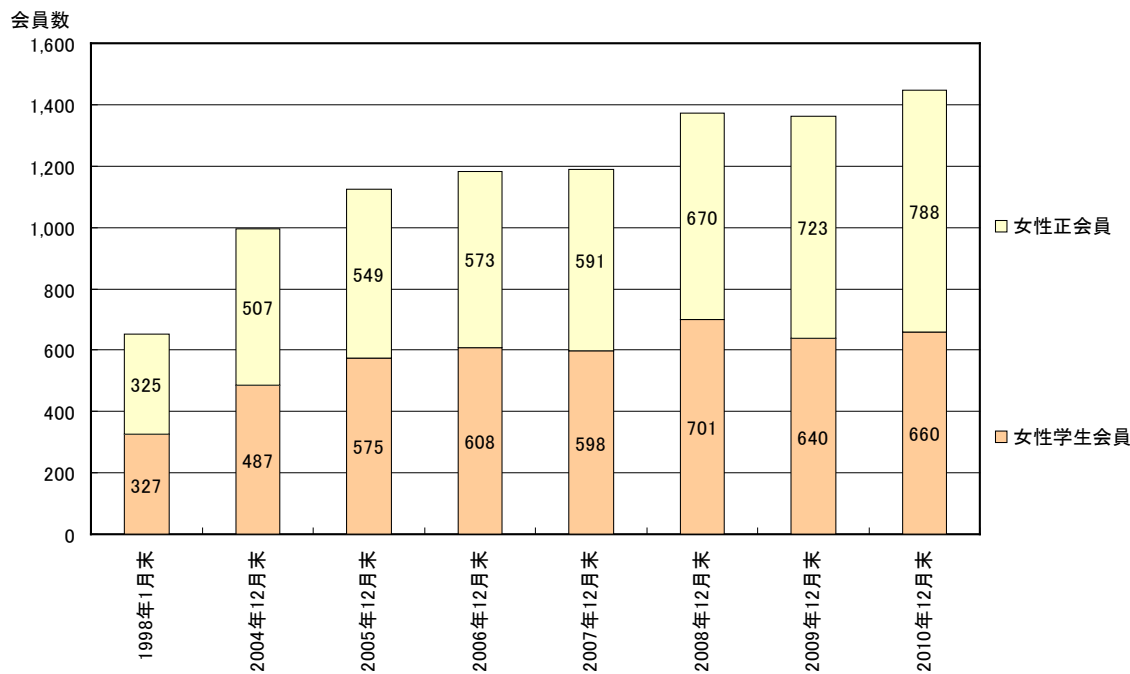
会員区分別会員数



- * 1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。
- * 正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。
- * 1914年～1943年については、40年史データ
- * 1944年、1945年については、推定値
- * 1946年～1994年については、80年史データ
- * 1995年～2003年については、90年史データ
- * 2004年～2010年については、会員課調べ

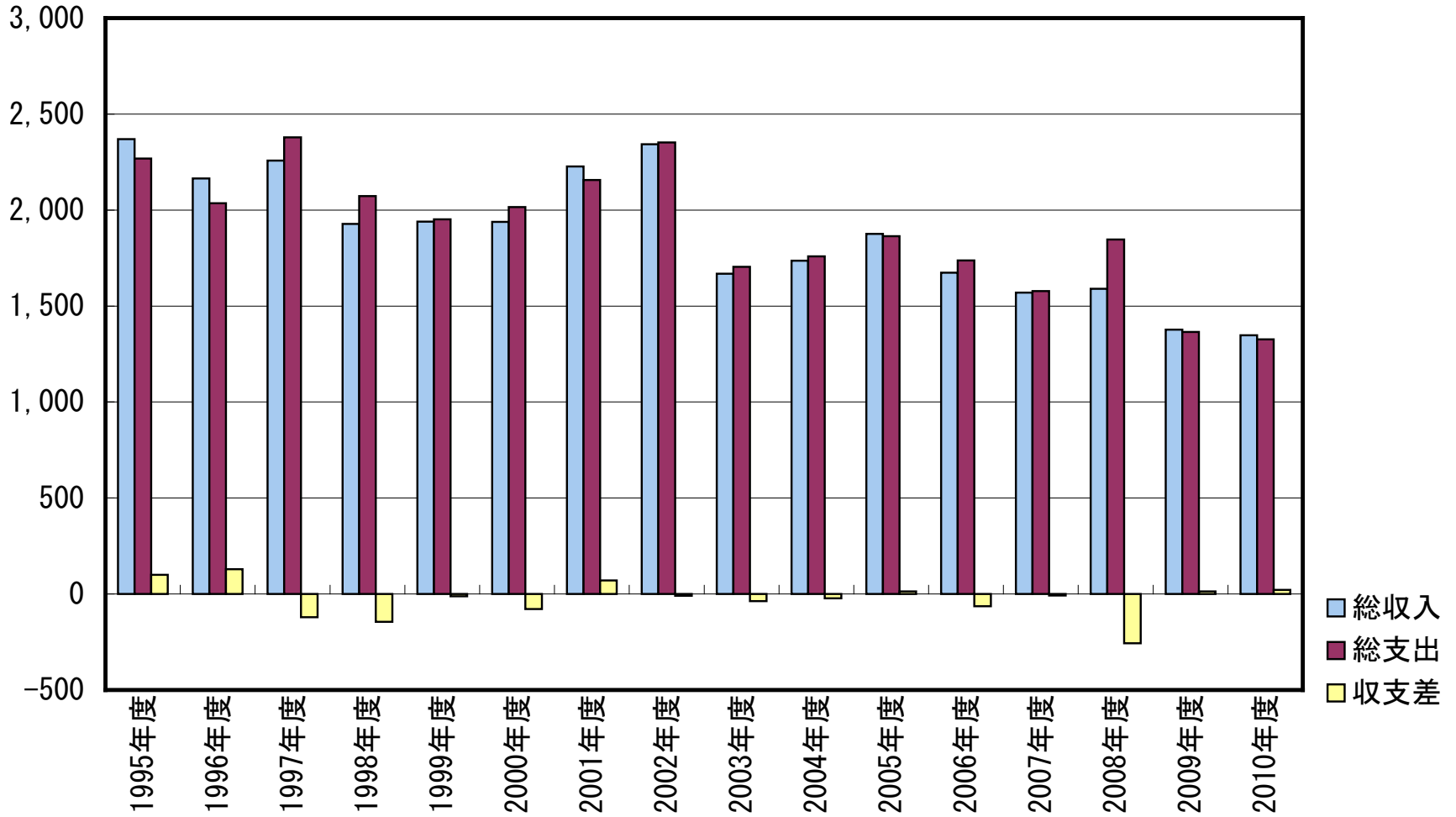
性別会員数

会員種別		1998年1月末	2004年12月末	2005年12月末	2006年12月末	2007年12月末	2008年12月末	2009年12月末	2010年12月末	
正会員	全体	33,473	33,887	32,961	32,144	31,384	31,435	31,109	31,007	
	男性	会員数(人)	33,148	33,380	32,412	31,571	30,793	30,765	30,386	30,219
		割合(%)	99.0	98.5	98.3	98.2	98.1	97.9	97.7	97.5
	女性	会員数(人)	325	507	549	573	591	670	723	788
		割合(%)	1.0	1.5	1.7	1.8	1.9	2.1	2.3	3
学生会員	全体	6,127	6,148	5,592	5,987	6,452	6,308	6,494	5,686	
	男性	会員数(人)	5,800	5,661	5,017	5,379	5,854	5,607	5,854	5,026
		割合(%)	94.7	92.1	89.7	89.8	90.7	88.9	90.1	88.4
	女性	会員数(人)	327	487	575	608	598	701	640	660
		割合(%)	5.3	7.9	10.3	10.2	9.3	11.1	9.9	11.6



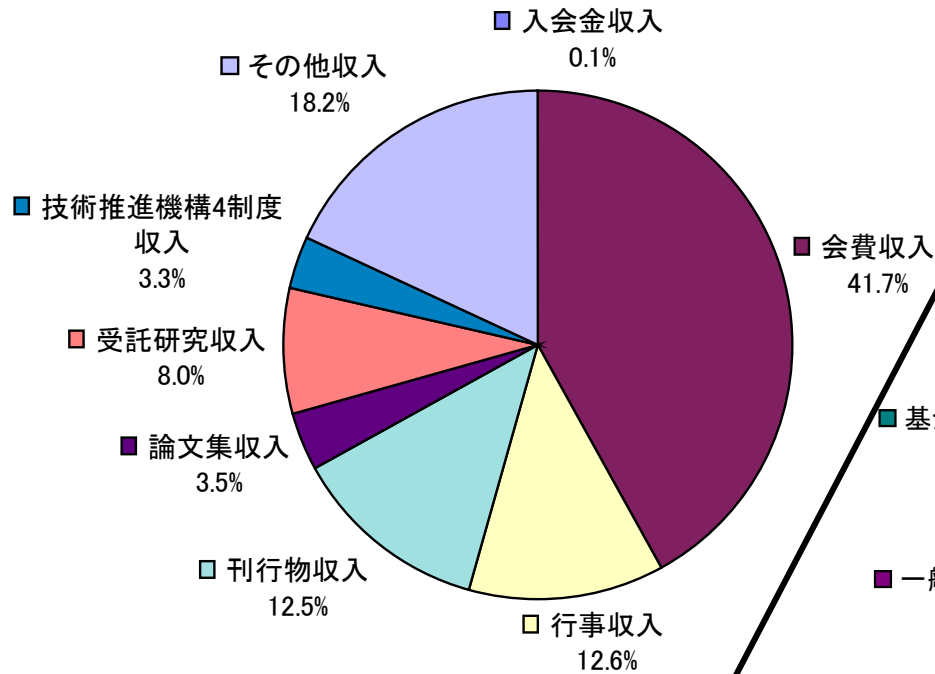
総収入と総支出

(百万円)

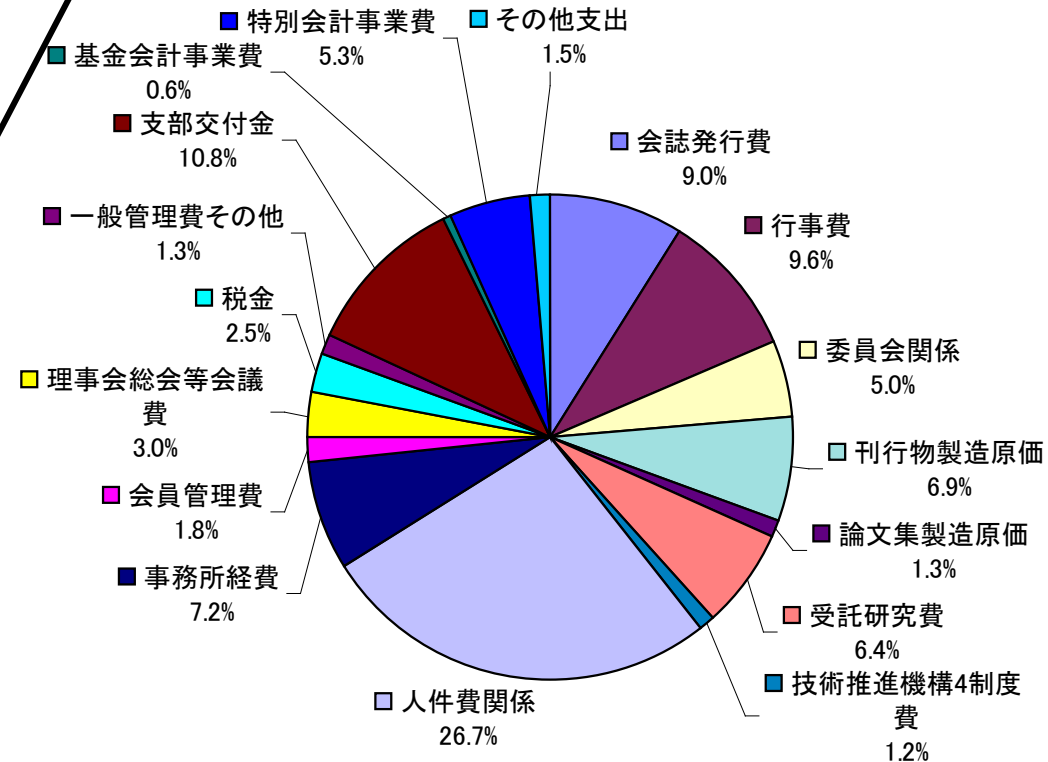


収支状況

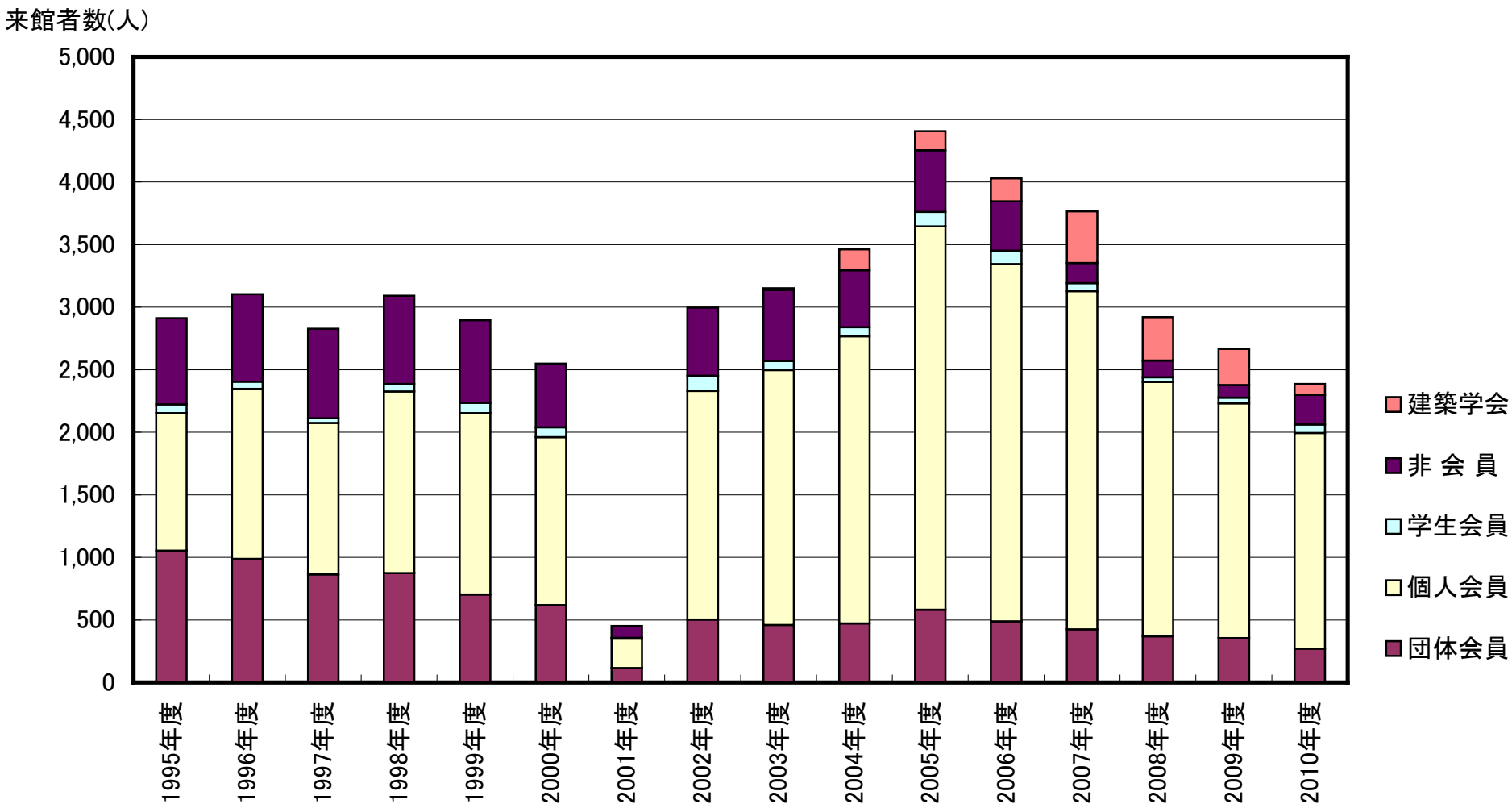
2010年度収入内訳



2010年度支出内訳



図書館来館者数



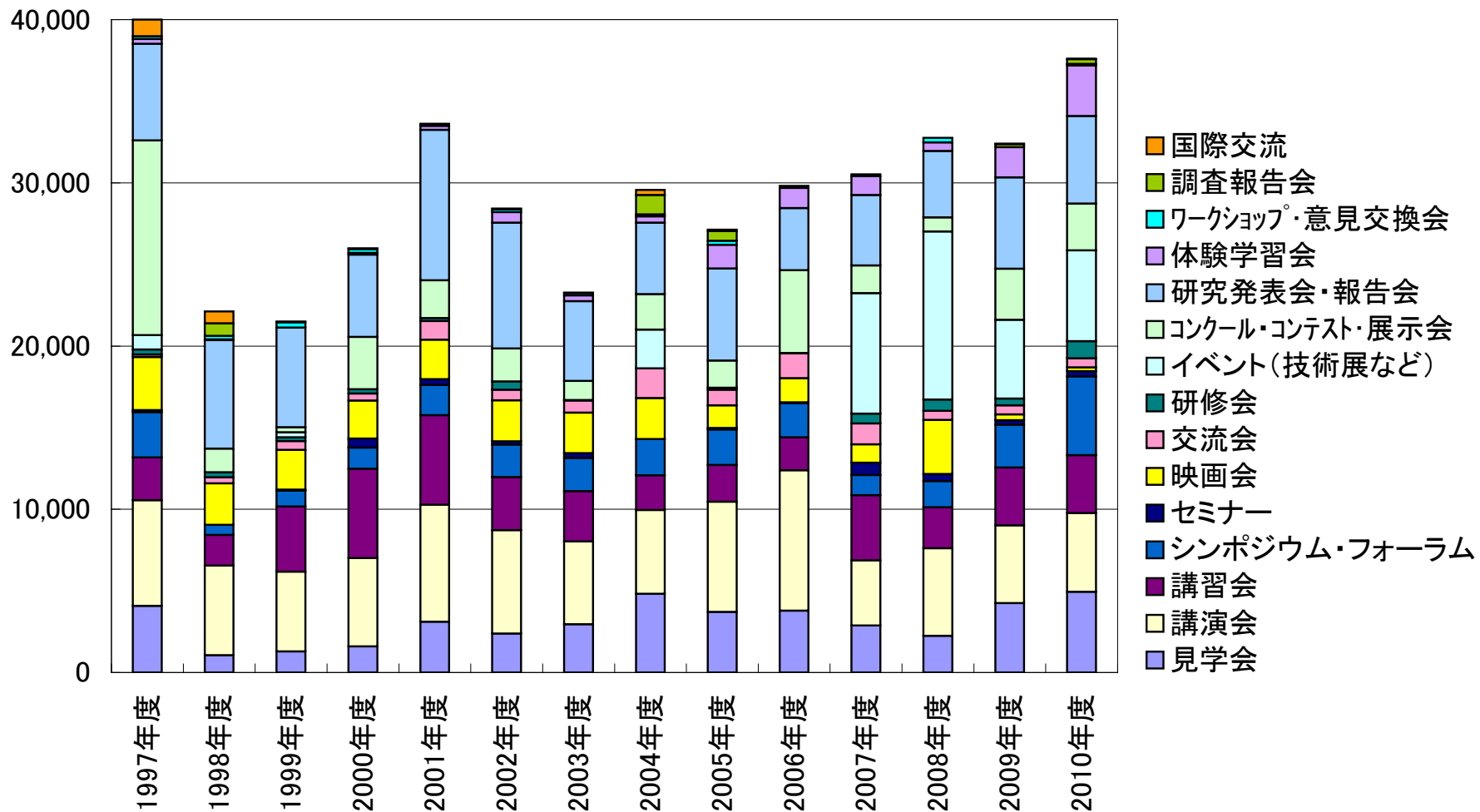
注 2001年度に改修を実施

図書館のページ: <http://www.jsce.or.jp/library/index.html>

* 2001年に図書館改築
* 団体会員は、法人会員と特別会員の合計

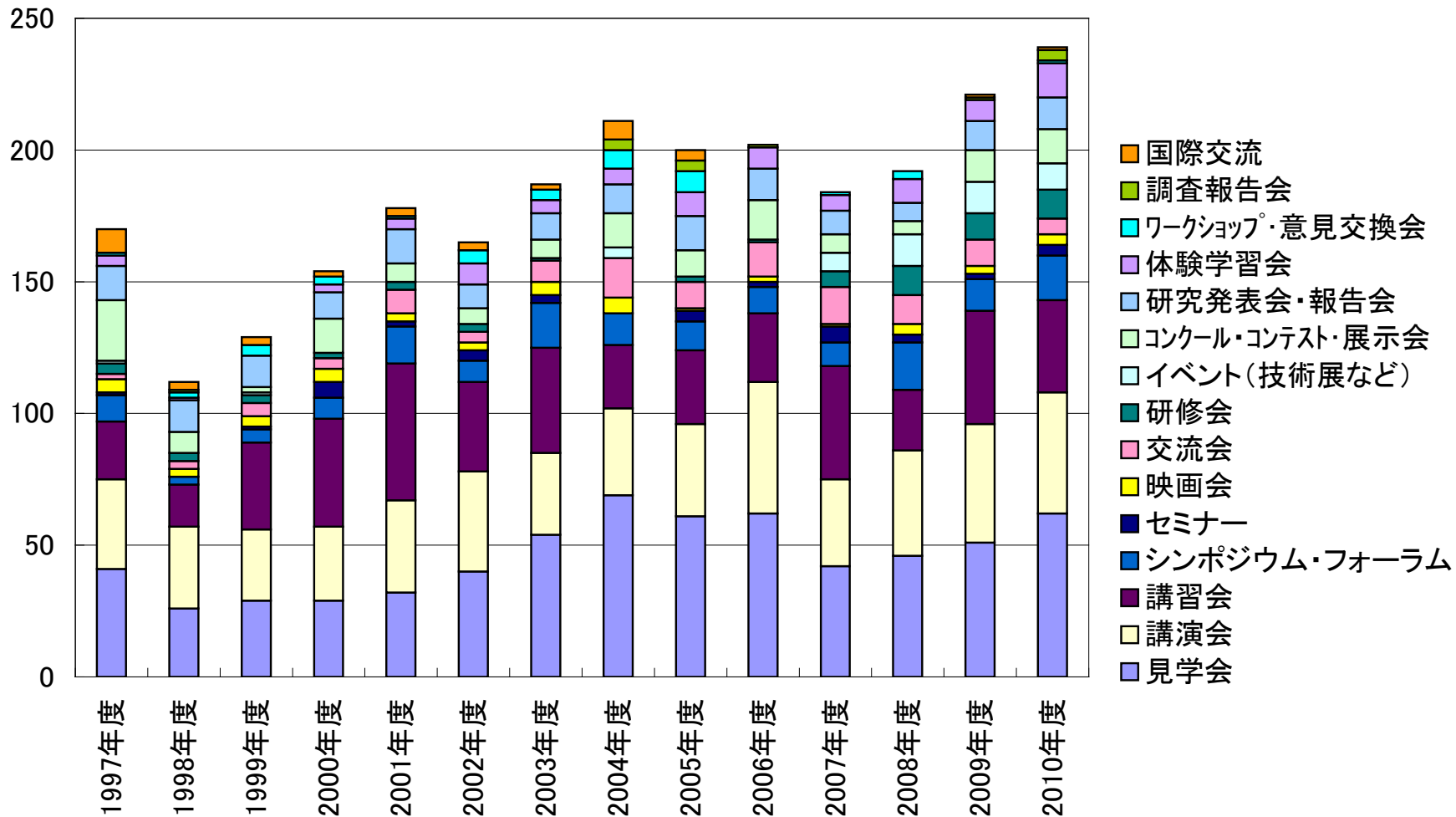
支部行事開催数

参加者数



支部行事参加者数

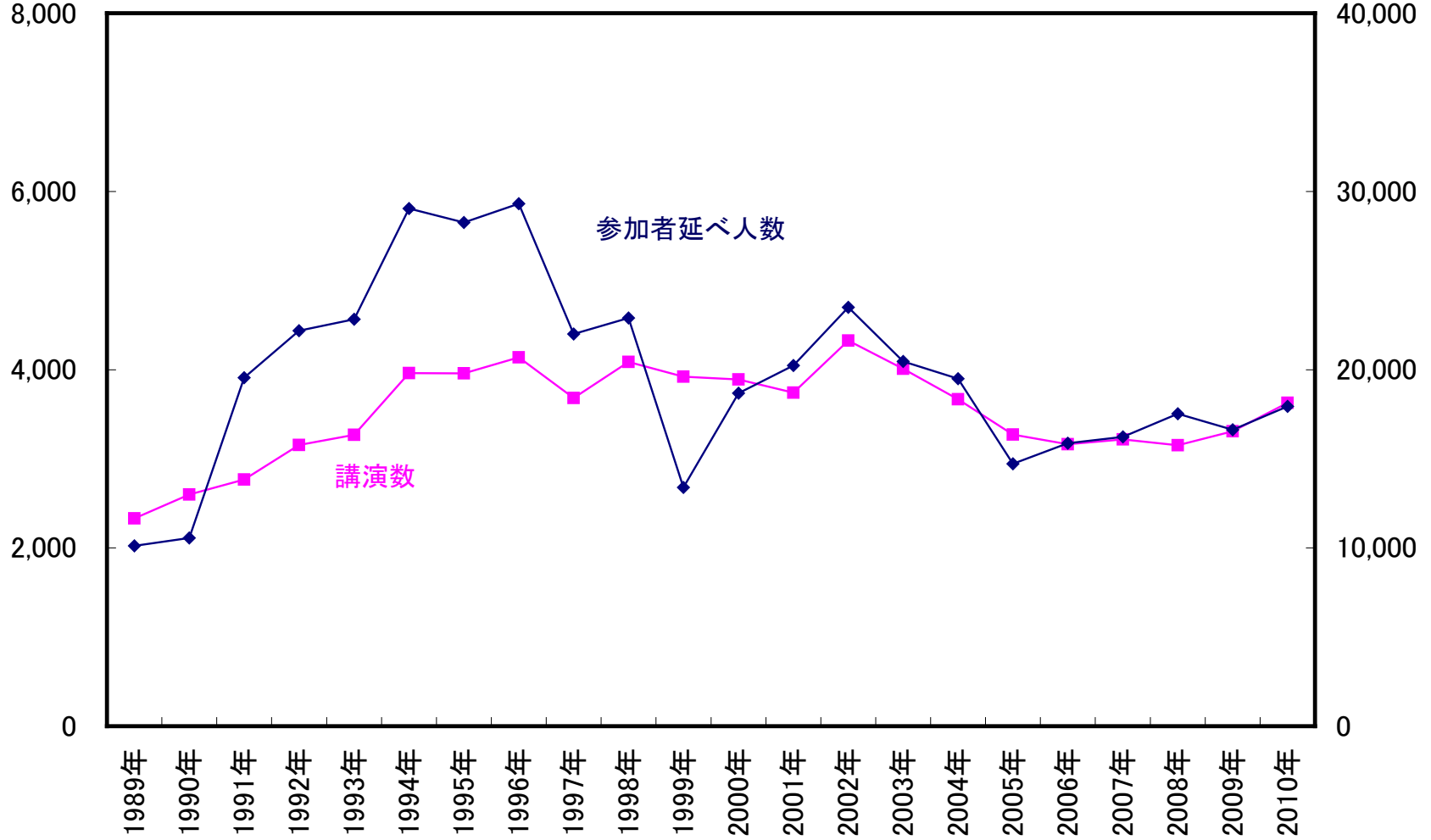
開催回数



年次学術講演会 講演数と参加者延べ人数の推移

講演数(編)

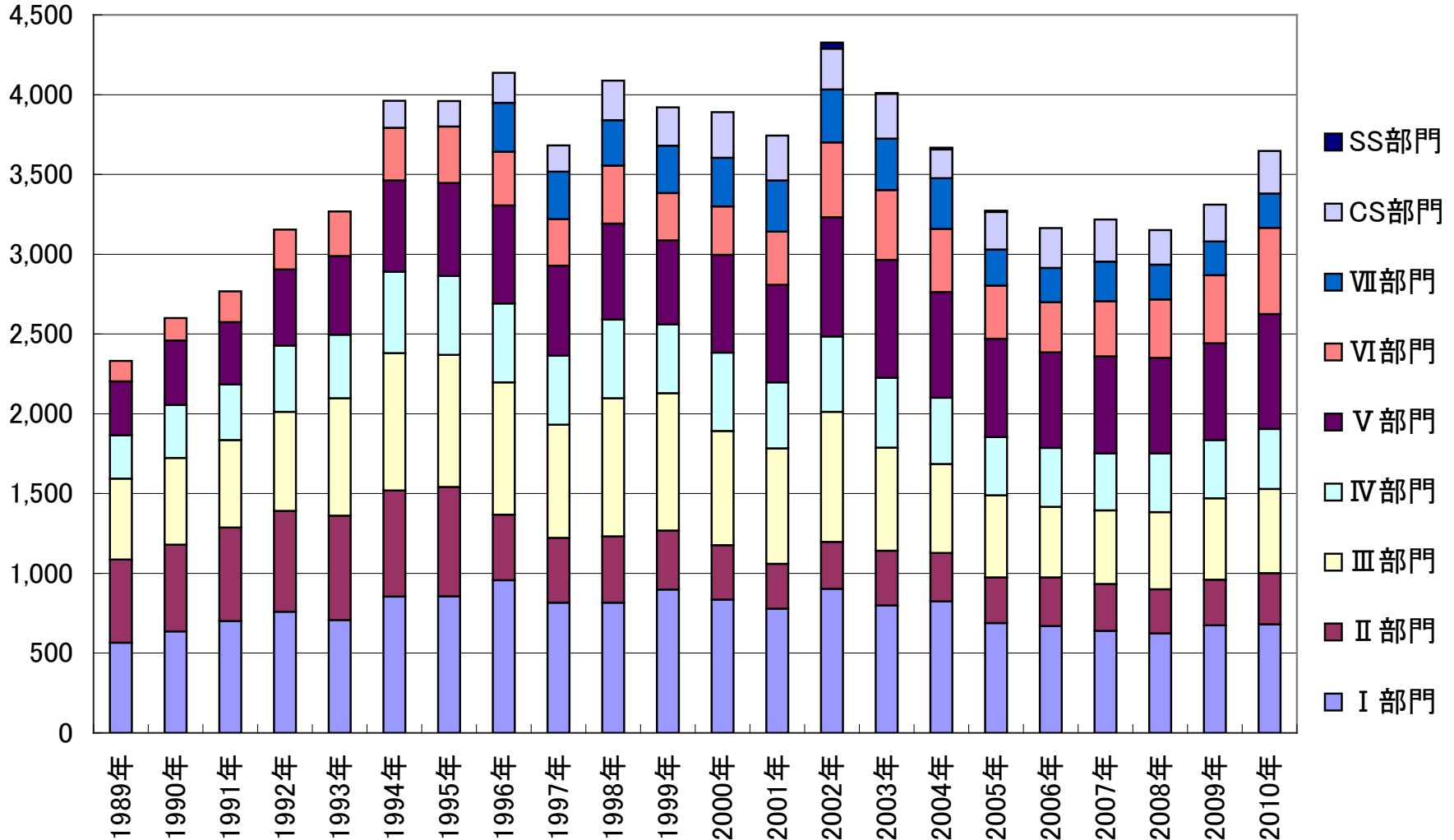
参加者延べ人数(人)



- * 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計
- * 参加者延べ人数は各セッションの参加者数の合計

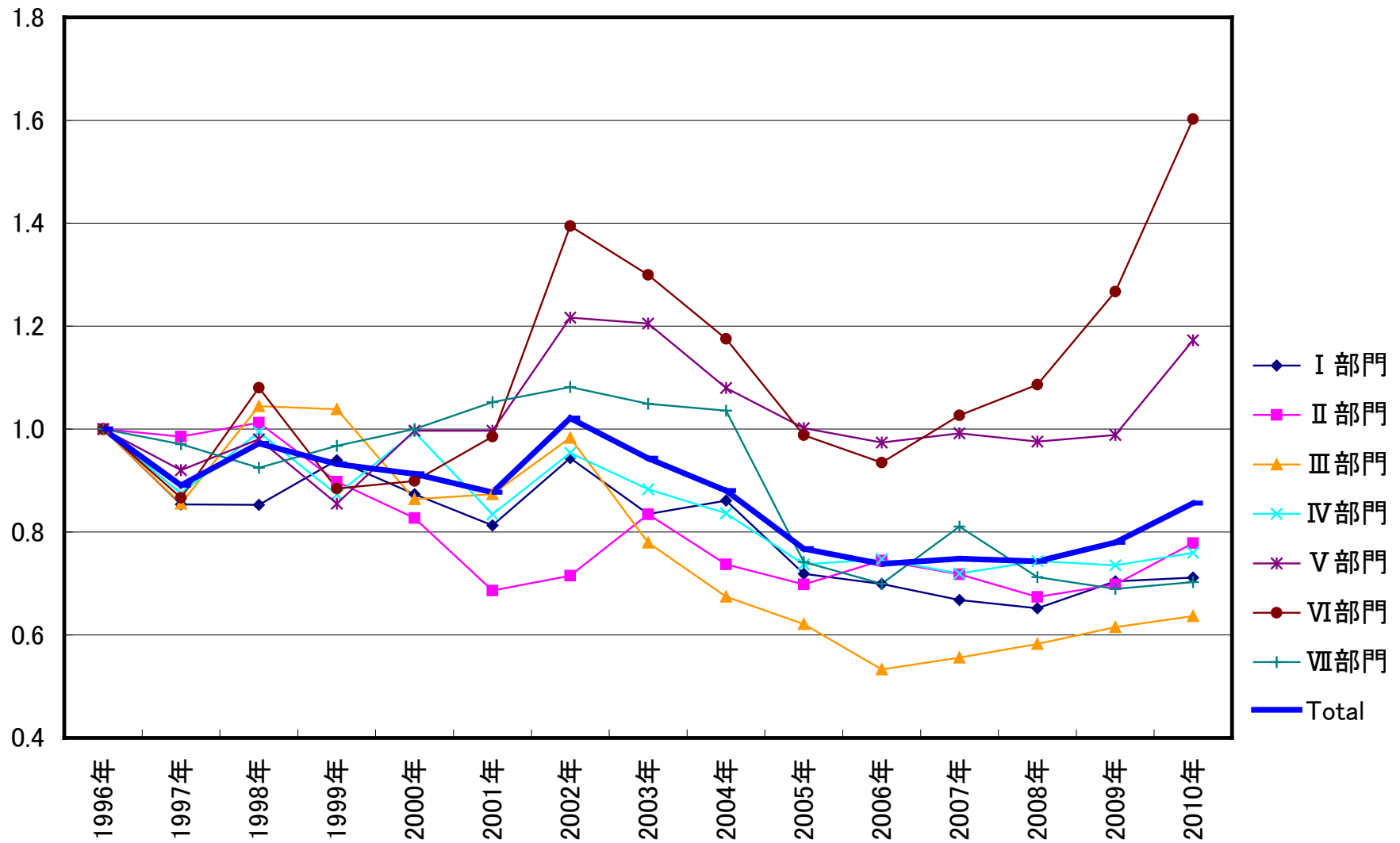
年次学術講演会 部門別講演数の推移

講演数(件)



* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

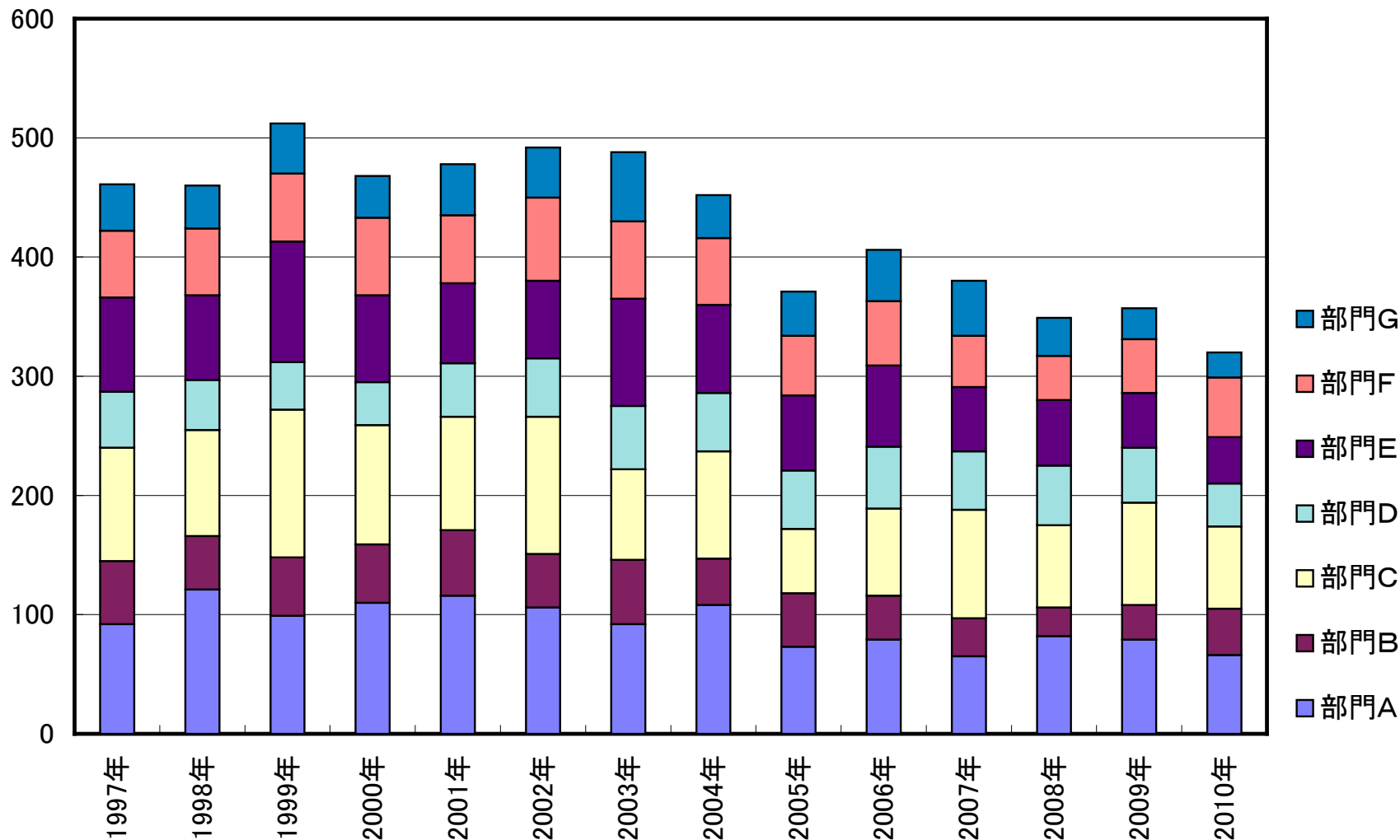
年次学術講演会 部門別講演数の推移(1996年を1.0とした場合)



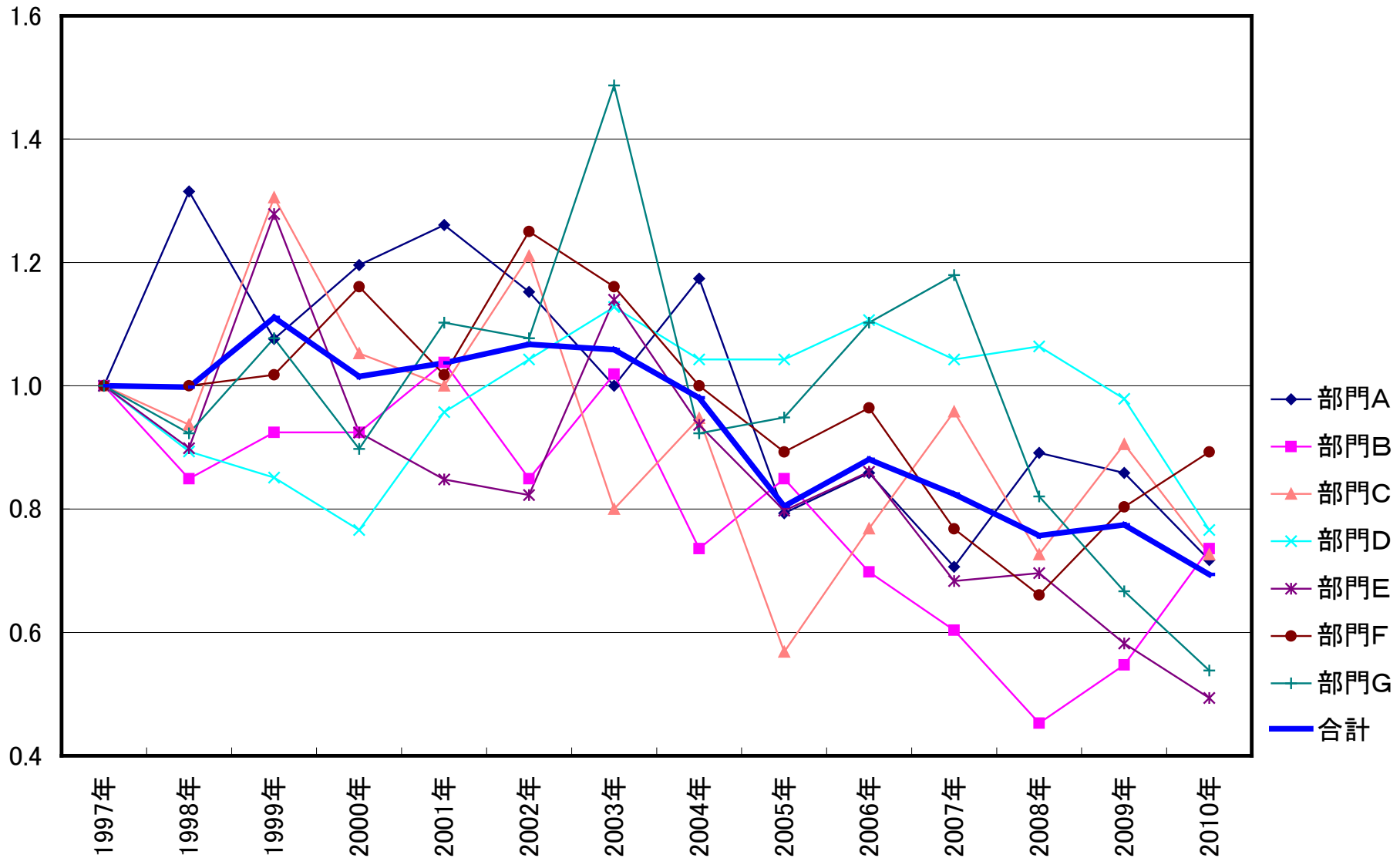
* 1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

土木学会論文集 掲載数

掲載数(件)

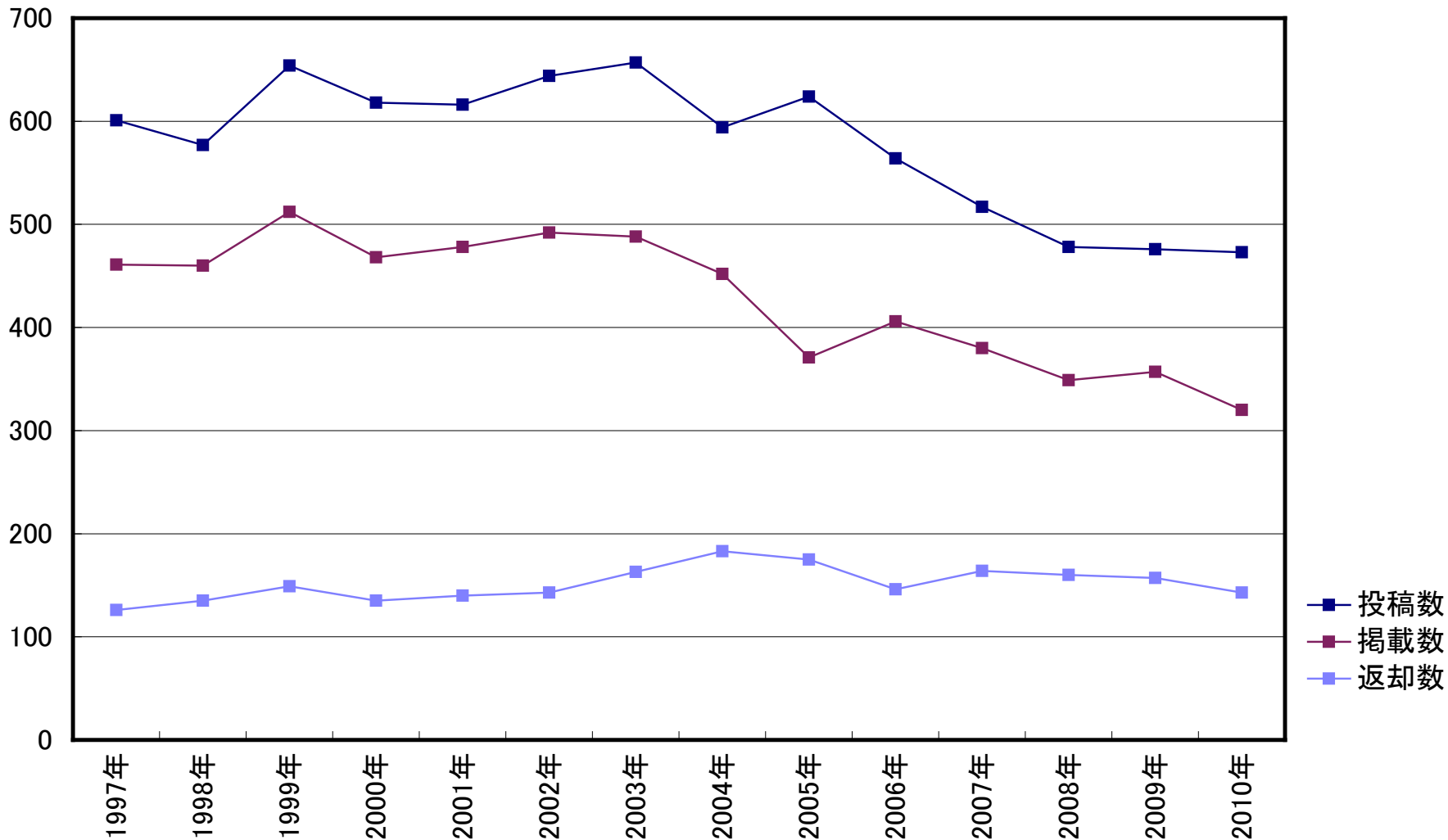


土木学会論文集 掲載数 (1997年を1.0とした場合の推移)



土木学会論文集 投稿・掲載・返却数

論文数(件)



土木学会賞 表彰件数

表彰件数

100

90

80

70

60

50

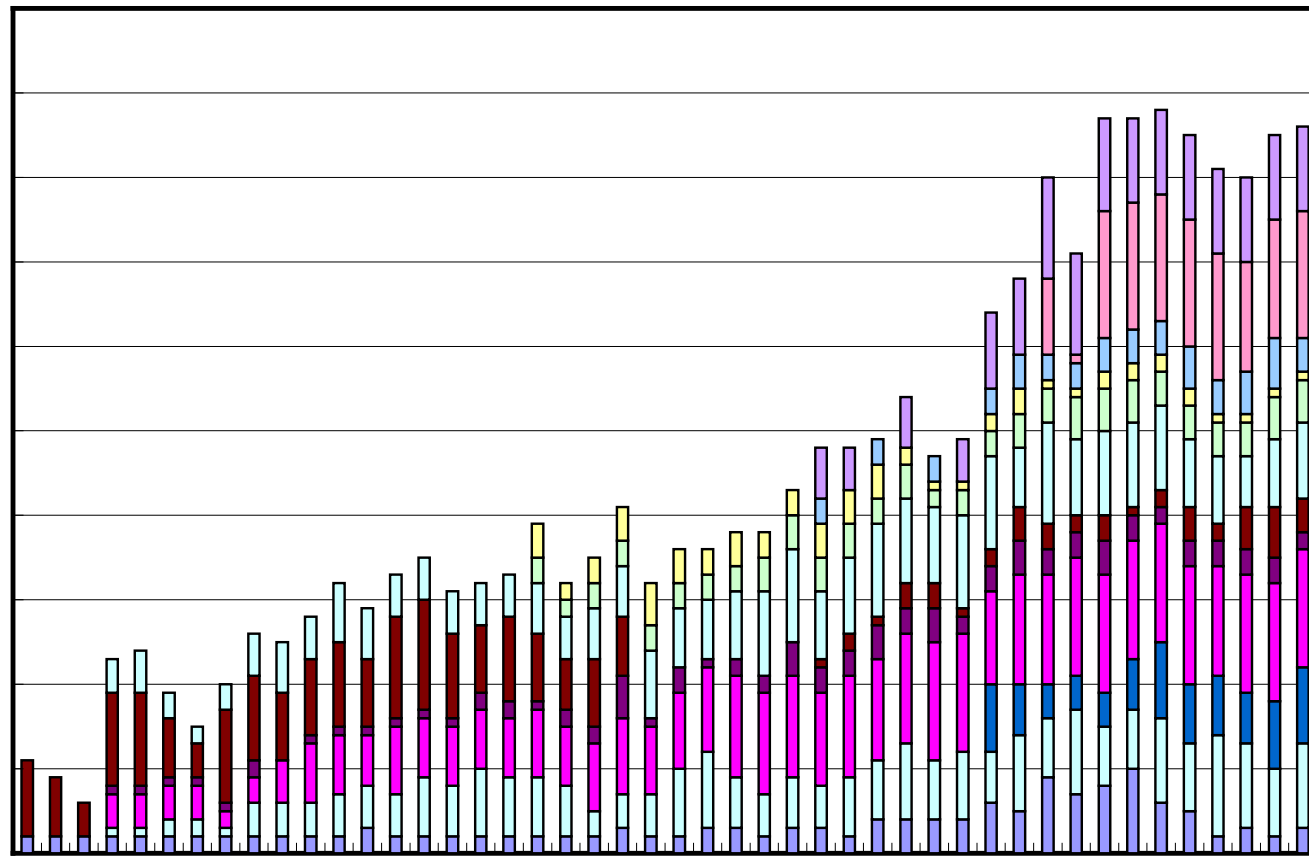
40

30

20

10

0

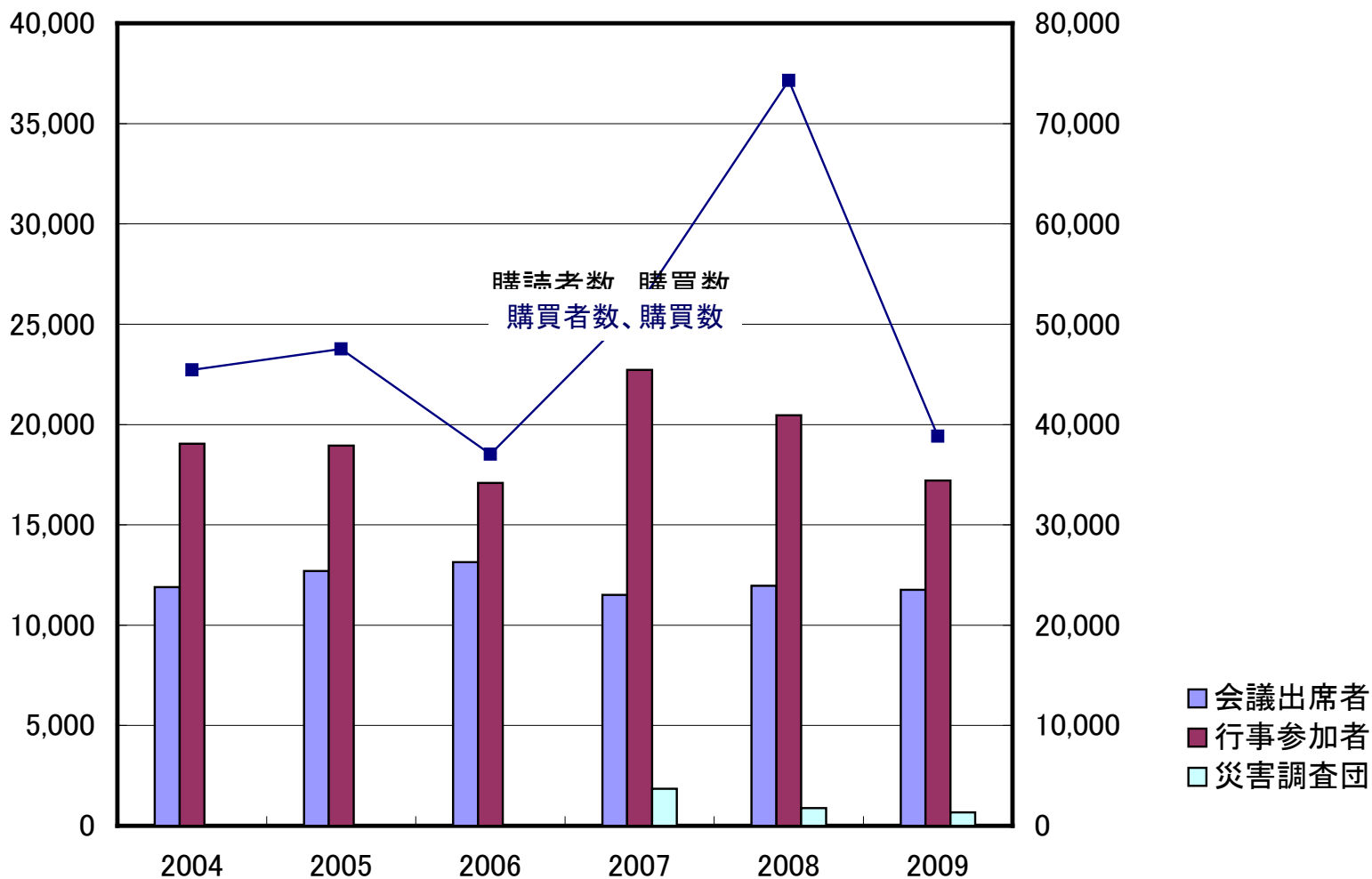


- 技術功労賞
- 国際活動奨励賞
- 国際貢献賞
- 出版文化賞
- 技術開発賞
- 田中賞
- 吉田研究奨励賞
- 吉田賞
- 論文賞
- 環境賞
- 技術賞
- 功績賞

調査研究部門 委員会活動参加者数

出席者数、参加者数

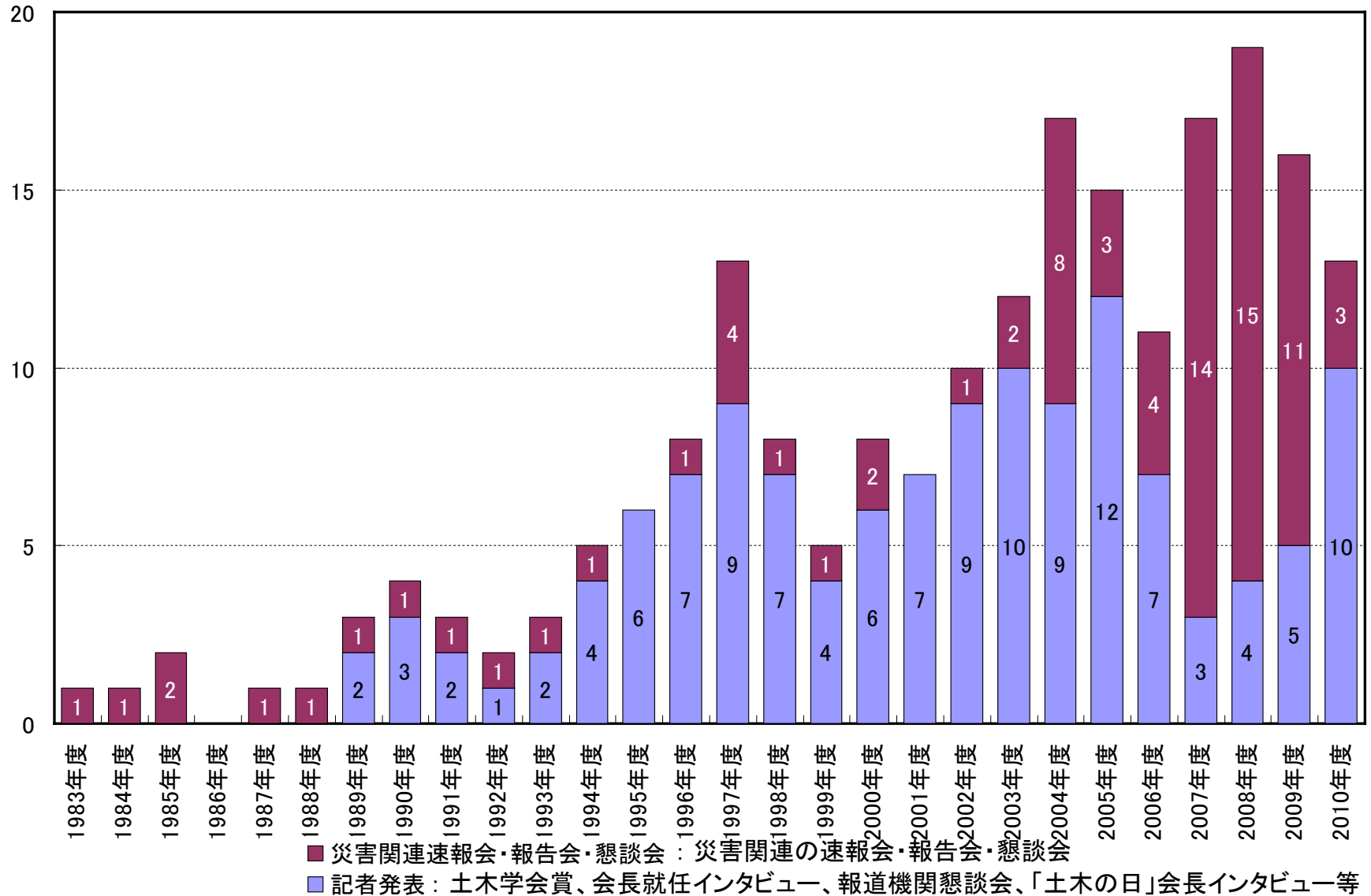
購読者数、購買数



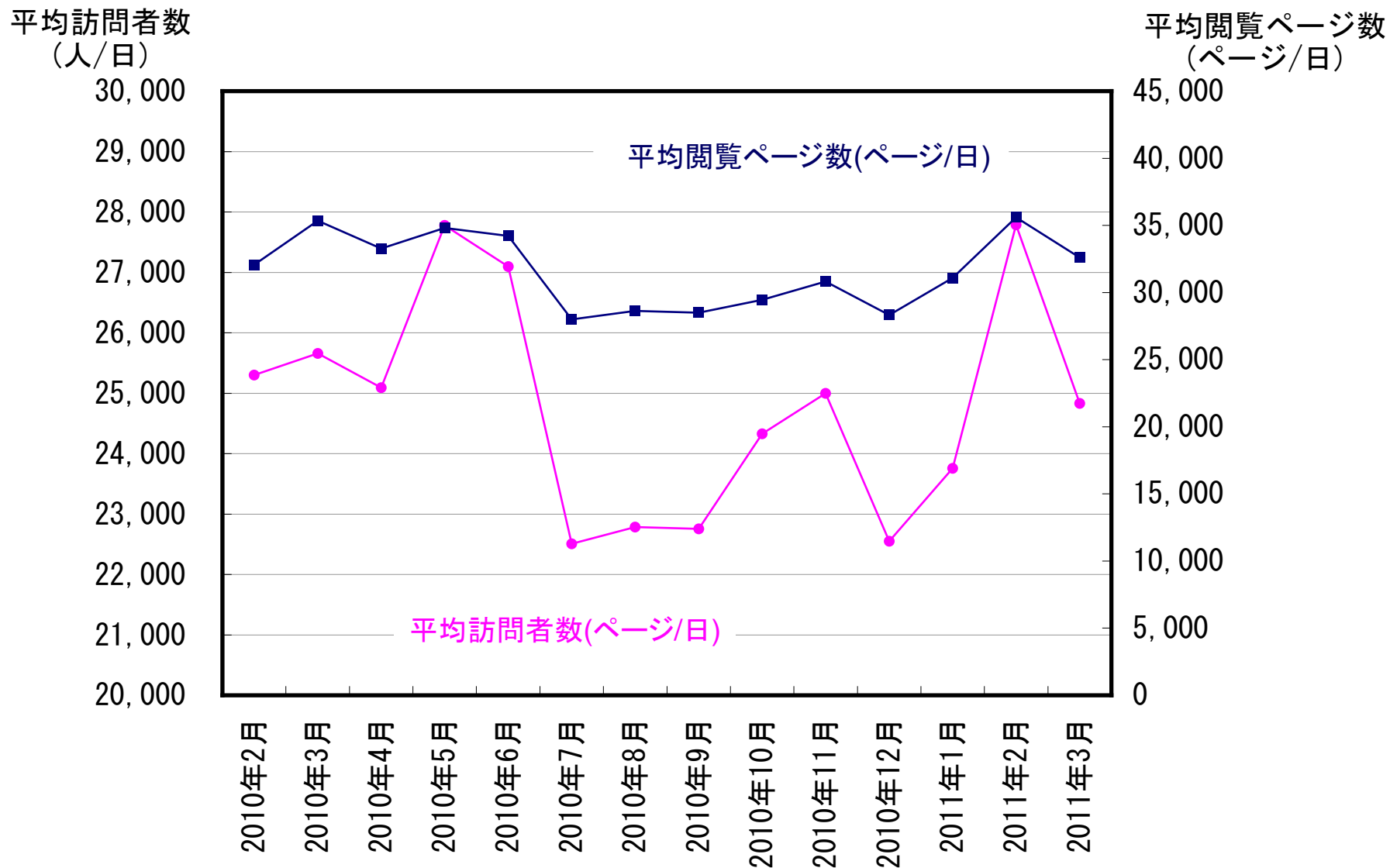
- * 会議出席者：小委員会以上の会議に出席した延べ人数
- * 行事参加者：委員会が主催、共催した行事に参加した延べ人数
- * 書籍購読・購買：委員会が関与して出版した書籍の購読者数あるいは購買数
- * 災害調査団：災害調査団に派遣した委員の延べ人数、調査団が開催した報告会等の参加者数

記者発表数

発表数(回)



学会ホームページの閲覧状況



論説一覽①

回	ホームページ 掲載年月	編	執筆者	論 題
第 1 回	2007年6月	(1)	丹保 憲仁	目ははるか地平を、足はしっかりと大地を
		(2)	濱田 政則	安全・安心な社会の構築へのパラダイム転換
第 2 回	2007年7月	(1)	大石 久和	「私」を考えて「公」を主張すべきは誰なのか
		(2)	塩谷 喜雄	生態学と経済学
第 3 回	2007年8月	(1)	山本 卓朗	誇りを持って建設業を語る
		(2)	濱田 政則	原子力発電への信頼回復に向けて
第 4 回	2007年9月	(1)	青山 俊樹	地球温暖化と日本の課題
		(2)	清野 茂次	「武士道」に学ぶ技術者の倫理規範
第 5 回	2007年10月	(1)	森地 茂	地域格差と社会資本
第 6 回	2007年11月	(1)	井上 啓一	道路公団民営化がもたらしたもの
		(2)	米田 雅子	「国土の均衡ある発展」と建設産業
第 7 回	2007年12月	(1)	近藤 徹	総合的な土木工学による治水対策
		(2)	土岐 憲三	社会基盤の再定義
第 8 回	2008年1月	(1)	堀 正幸	技術者が安全・安心の真の担い手
第 9 回	2008年2月	(1)	魚本 健人	土木構造物の「トレーサビリティ」
		(2)	内藤 廣	景観という戦略
第 10 回	2008年3月	(1)	日下部 治	魅力ある職業資格への議論を
		(2)	草柳 俊二	最前線の技術者達が学術的活動を実施して行ける環境整備を
第 11 回	2008年4月	(1)	丹保 憲仁	教養と専門（学部と修士）
		(2)	大石 久和	「国土学」と「比較学」のすすめ
第 12 回	2008年5月	(1)	山本 卓朗	建設業の魅力回復を
		(2)	栢原 英郎	公共事業への無理解とその反論
第 13 回	2008年6月	(1)	濱田 政則	防災・環境問題に関する学協会横断的研究のすすめ
		(2)	青山 俊樹	若き人達へ ～ 土木の魅力
第 14 回	2008年7月	(1)	清野 茂次	「設計」について再考する
		(2)	森地 茂	プロジェクトづくり
第 15 回	2008年8月	(1)	塚田 幸宏	技術革新が創出する新しい時間管理概念
		(2)	近藤 徹	土木工学に生態学の知見を
第 16 回	2008年9月	(1)	土岐 憲三	科学技術の研究動向における建設系の状況
		(2)	米田 雅子	冗長性のあるストック設計
第 17 回	2008年10月	(1)	堀 正幸	土木の将来ビジョンと人材育成
		(2)	魚本 健人	「年功序列」社会と「能力主義」社会

論説一覽②

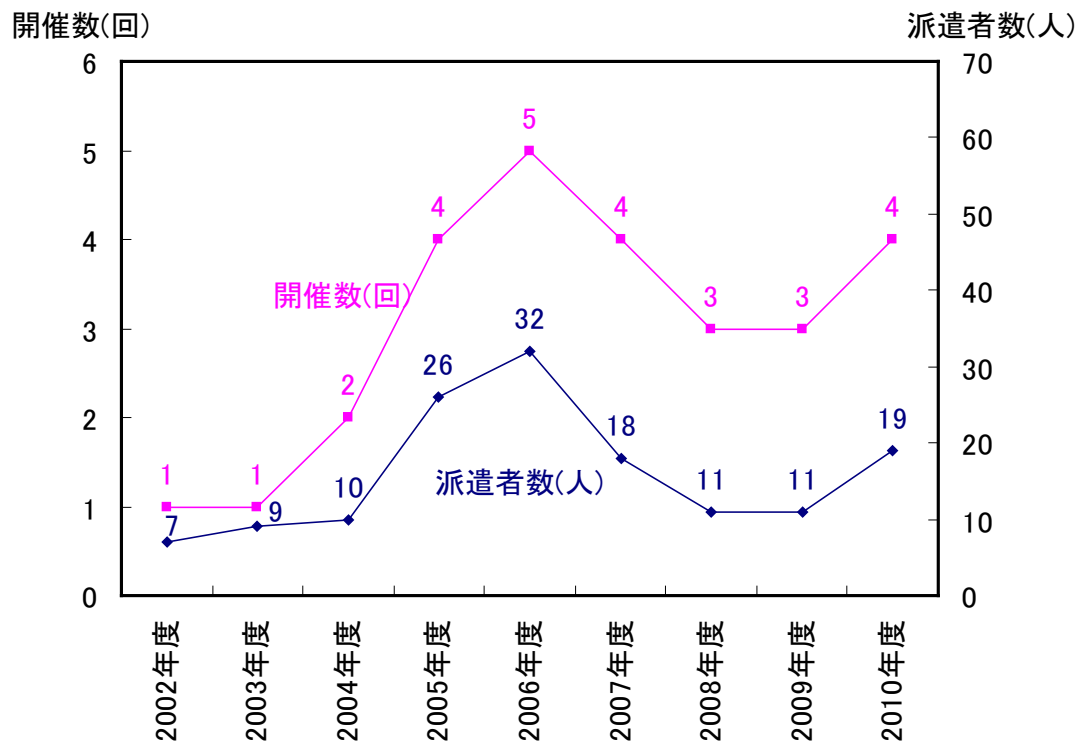
回	ホームページ 掲載年月	編	執筆者	論 題
第 18 回	2008年11月	(1)	内藤 廣	知的財産権について
		(2)	日下部 治	日本の土木技術の国際的存在感を確保せよ
第 19 回	2008年12月	(1)	草柳 俊二	建設産業の改革と契約に関する意識向上
		(2)	中村 英夫	土木事業の行くえ
第 20 回	2009年1月	(1)	楠田 哲也	基礎力を備えた研究者の育成と確保
		(2)	井上 啓一	変動の激しい中で公共財を運営する上で考えていかなければならないこと
第 21 回	2009年2月	(1)	大垣 眞一郎	若い人たちは待っている
		(2)	丹保 憲仁	チーム水・日本
第 22 回	2009年3月	(1)	石井 弓夫	二つの危機を乗り越えるために
		(2)	佐々木 葉	土木のリセット！してみませんか？
第 23 回	2009年4月	(1)	西脇 芳文	新しい社会のニーズと土木の役割
		(2)	柴山 知也	自然災害への対策と土木技術者の役割—途上国での高潮・津波調査結果を踏まえて—
第 24 回	2009年5月	(1)	小澤 一雅	土木学会から契約約款の発刊を
		(2)	布村 明彦	総合医療としての新たな社会資本整備の姿
第 25 回	2009年6月	(1)	森地 茂	社会資本のリスク対応の制度的課題
		(2)	佐藤 慎司	生活習慣病型の環境問題
第 26 回	2009年7月	(1)	青山 俊樹	土木の将来について
		(2)	山本 卓朗	建設業の適正利益確保について
第 27 回	2009年8月	(1)	魚本 健人	土木事業と土木技術者の将来
		(2)	濱田 政則	土木工事での木材活用による温暖化防止への貢献
第 28 回	2009年9月	(1)	山田 正	公共事業の意思決定法はいかにあるべきか —ダム建設事業を例として—
		(2)	太田 猛彦	森林の現状をどう見るか
第 29 回	2009年10月	(1)	宮川 豊章	本当に欲しいものは何か？：分福茶釜と性能規定
		(2)	B. N. Lohani	Investing in Infrastructure Development for the Future
第 30 回	2009年11月	(1)	原 恒雄	公共事業の必要性は理解されているか
		(2)	木村 孟	我が国の子ども達の学力について
第 31 回	2009年12月	(1)	橋本 鋼太郎	変化する時代の土木のあり方
		(2)	富岡 征一郎	海外土木事業における我が国の競争力
第 32 回	2010年1月	(1)	竹村 公太郎	公共事業の必要性は理解されているか
		(2)	塩谷 喜雄	アカデミズムの存在理由
第 33 回	2010年2月	(1)	小磯 修二	社会資本投資と地域の経済成長力
		(2)	大島 一哉	「組織主体から個人主体へ 未来と魅力のある土木界にするために」
第 34 回	2010年3月	(1)	栢原 英郎	本当にシビルエンジニアか
		(2)	森地 茂	社会資本を巡る議論

論説一覽③

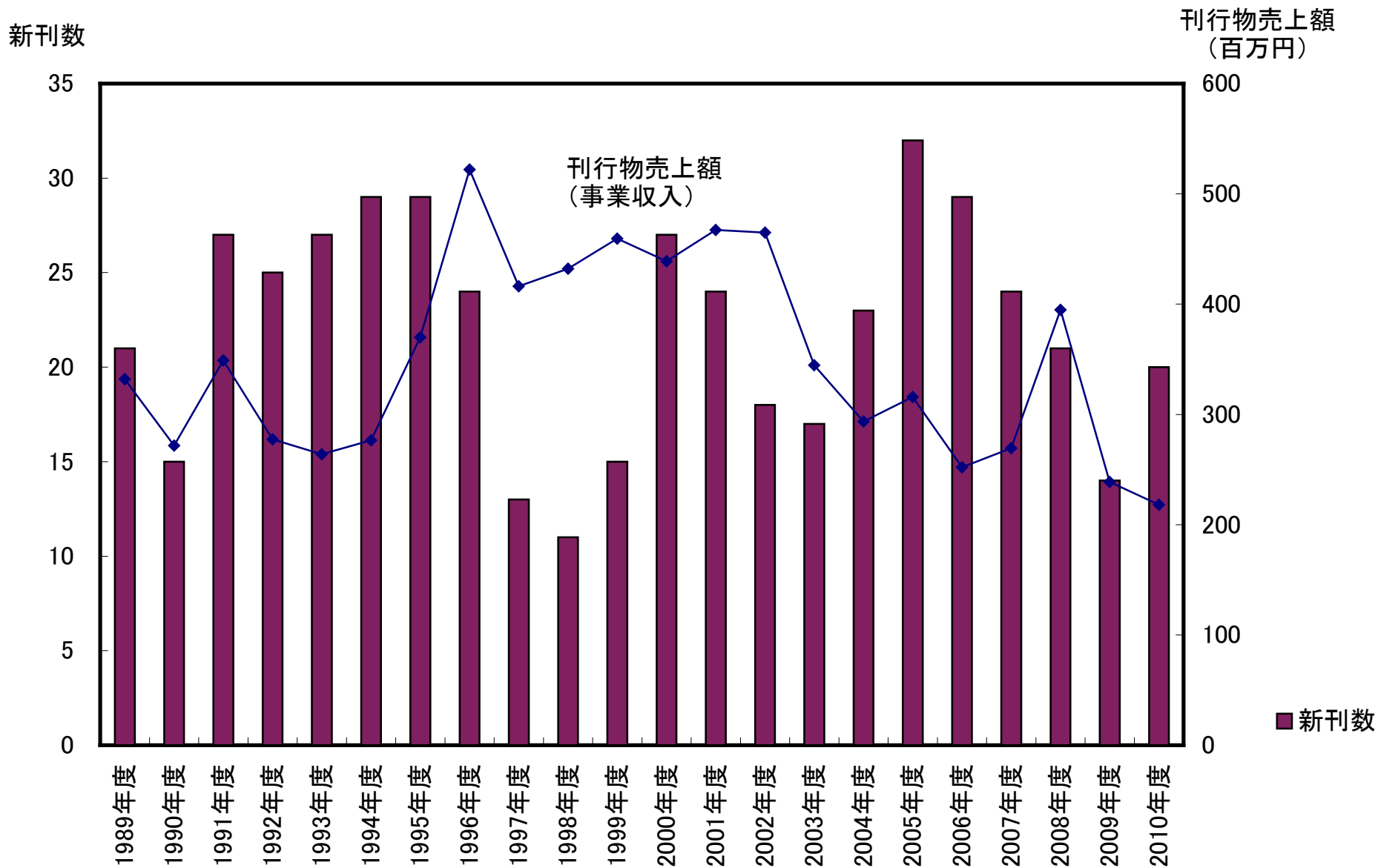
回	ホームページ 掲載年月	編	執筆者	論 題
第34回	2010年3月	(1)	栢原 英郎	本当にシビルエンジニアか
		(2)	森地 茂	社会資本を巡る議論
第35回	4月	(1)	立花 隆	シビル・エンジニアの新しいあり方
		(2)	西川 和廣	2050年の社会資本
第36回	5月	(1)	山川 朝生	公共工事契約制度、国際競争力の視点から見直しを
		(2)	財満 英一	日本発の技術を国際基準に
第37回	6月	(1)	曾野 綾子	水不足の世界で
第38回	7月	(1)	宮川 豊章	シナリオデザインのすすめ：平知盛の憂鬱
第39回	8月	(1)	河田 恵昭	首都壊滅
		(2)	村田 進	津波防災技術の世界への発信
第40回	9月	(1)	谷口 博昭	産学官パートナーシップで新世紀のインフラ整備・管理を
		(2)	島津 翔	技術者の責任には、相応の権利が必要だ
第41回	10月	(1)	家田 仁	技術者教育認定制度に何を求めるか？：教育の質と大学人、そして産業界
		(2)	福田 敦	JABEE認定・審査に対する評価と課題
第42回	11月	(1)	小磯 修二	北海道開発政策の意義
		(2)	竹村 公太郎	人口減少の未来へ向けて
第43回	12月	(1)	佐藤 慎司	合意形成の場における専門家の役割
		(2)	桑子 敏雄	合意形成における専門家の役割について
第44回	平成23年1月	(1)	栢原 英郎	我が国の建設業が持つ社会的使命感
		(2)	橋本 鋼太郎	土木学の意義
第45回	2月	(1)	三村 信男	気候変動への対応とグリーン・イノベーション
		(2)	西川 和廣	電気自動車（EV）普及が拓げる道路インフラの可能性への期待
第46回	3月	(1)	富岡 征一郎	国際プロジェクトにこそ求められる現場力
		(2)	井口 直樹	国際土木プロジェクトの法的リスクの把握

国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

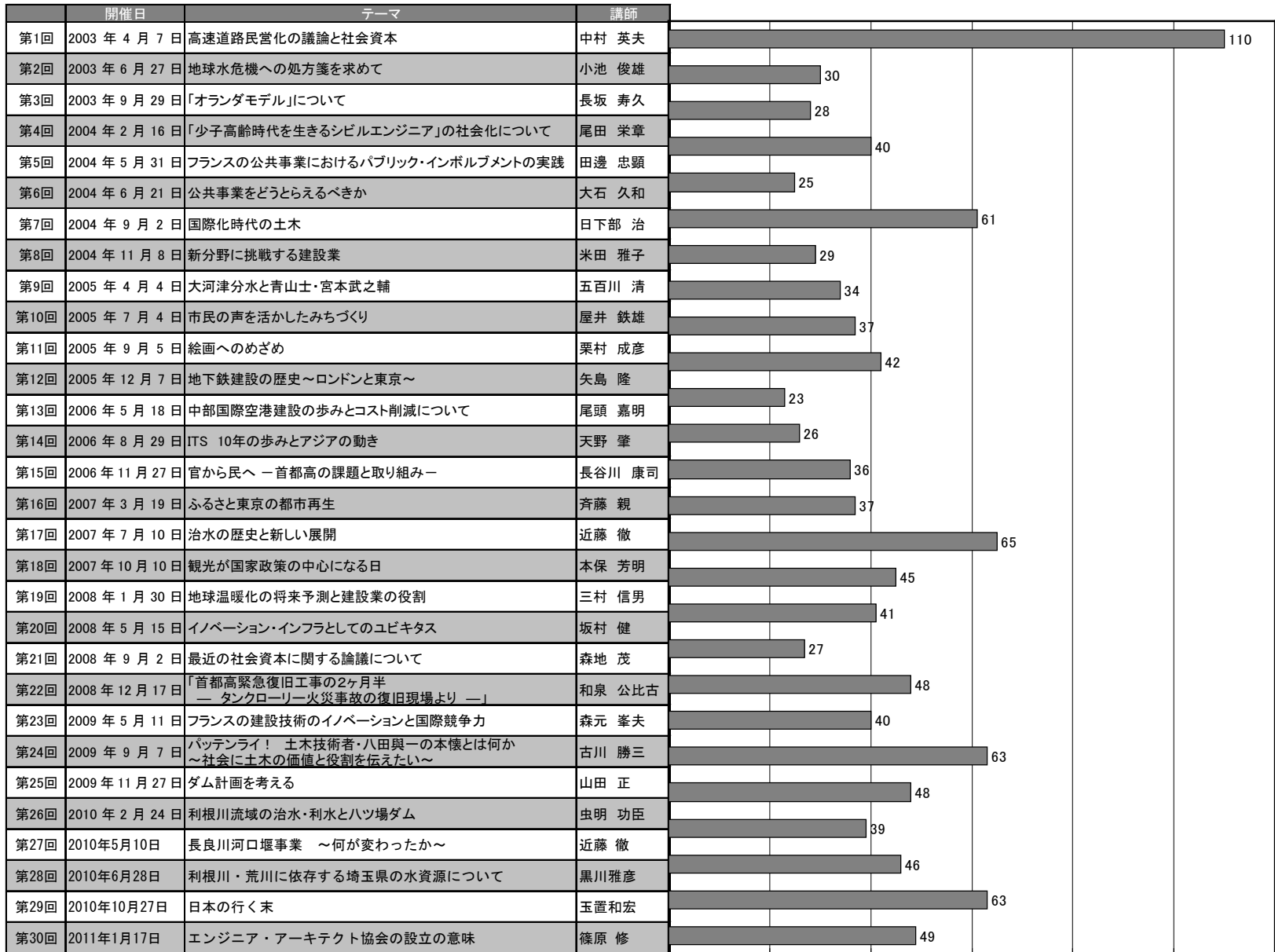
	開催数(回)	派遣者数(人)	開催国別派遣者数(人)
2002年度	1	7	タイ:7
2003年度	1	9	韓国:9
2004年度	2	10	フィリピン:5、台湾:5
2005年度	4	26	モンゴル:6、バングラディッシュ:5、韓国:7、ベトナム:8
2006年度	5	32	インド:6、ベトナム:7、韓国:7、中国:5、タイ:7
2007年度	4	18	モンゴル:6、タイ:5、韓国:3、台湾:4
2008年度	3	11	スウェーデン:3、インドネシア:2、オーストラリア:6
2009年度	3	11	モンゴル:5、ネパール:3、ギリシャ:3
2010年度	4	19	トルコ:4、バングラデシュ:5、香港:3、カンボジア:7



新刊数と刊行物売上額の推移



トークサロン参加者数



* 一部テーマ名を省略

0 20 40 60 80 100 120

トークサロンのページ: <http://committees.jsce.or.jp/kikaku/taxonomy/term/6>

参加者数 (人)

イブニングシアター参加者数①

	上映月日	上映作品	上映場所					
第 1 回	2001 年 11 月 28 日	①石を架ける－石橋文化を築いた人々 他	攻玉社工科短大	32				
第 2 回	2001 年 12 月 19 日	①銀座の地下を掘る ②東名高速道路	攻玉社工科短大	46				
第 3 回	2002 年 1 月 23 日	①恵那山トンネル ②青函トンネル	攻玉社工科短大	40				
第 4 回	2002 年 2 月 20 日	①関門橋、②本州四国連絡橋－児島・坂出ルート	攻玉社工科短大	39				
第 5 回	2002 年 3 月 27 日	①松原・下釜ダム建設記録 ②川とともに 他	攻玉社工科短大	23				
第 6 回	2002 年 10 月 30 日	①海中基礎に挑む－明石海峡大橋ケーソン設置 他	攻玉社工科短大	27				
第 7 回	2002 年 11 月 27 日	①ある碑－巨大吊橋を支える 他	攻玉社工科短大	45				
第 8 回	2002 年 12 月 18 日	①新たなる挑戦－超大型泥水シールド 他	芝浦工業大	54				
第 9 回	2003 年 1 月 29 日	①長大橋の基礎を築く－本四架橋・南北備讃7A 他	芝浦工業大	41				
第 10 回	2003 年 2 月 26 日	①ニッポン近代化遺産への旅 他	土木学会講堂	57				
第 11 回	2003 年 5 月 28 日	①明日をつくった男－田辺朝朗と琵琶湖疎水	土木学会講堂	200				
第 12 回	2003 年 6 月 25 日	①地域と自然との共生をめざす道づくり 他	土木学会講堂	54				
第 13 回	2003 年 7 月 30 日	①21世紀の架け橋－第二名神高速道路 他	土木学会講堂	31				
第 14 回	2003 年 10 月 1 日	①日本の近代化を築いた人々	土木学会講堂	43				
第 15 回	2003 年 10 月 31 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	90				
第 16 回	2003 年 12 月 10 日	①海峡をつないだ技術 ②関門橋	攻玉社工科短大	35				
第 17 回	2004 年 3 月 23 日	①阪神淡路大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	49				
第 18 回	2004 年 7 月 21 日	①銀座の地下を掘る ②羽田海底トンネル	土木学会講堂	25				
第 19 回	2004 年 10 月 6 日	①よみがえる川 ②高潮に挑む	土木学会講堂	27				
第 20 回	2004 年 11 月 17 日	①礎いしずえ ②青函トンネル第一部	土木学会講堂	29				
第 21 回	2004 年 12 月 8 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	41				
第 22 回	2005 年 1 月 26 日	①東名高速道路 ②北上川	土木学会講堂	23				
第 23 回	2005 年 2 月 23 日	①松原・下釜ダム建設記録 ②みんなの下水道	土木学会講堂	20				
第 24 回	2005 年 6 月 22 日	①明日をつくった男	土木学会講堂	42				
第 25 回	2005 年 8 月 24 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録 他	土木学会講堂	60				
第 26 回	2005 年 9 月 28 日	①海峡をつないだ技術、②関門橋	土木学会講堂	43				
第 27 回	2005 年 11 月 16 日	①有楽町線 掘進 10900米 ②多島海を結ぶ 他	土木学会講堂	35				
第 28 回	2006 年 1 月 25 日	①都市化が水害を招く、②洪水をなだめた人びと	土木学会講堂	31				
第 29 回	2006 年 2 月 15 日	①佐久間ダム・第2部	土木学会講堂	51				
第 30 回	2006 年 7 月 26 日	①大深度地下に築く駅、②軟弱地盤に挑む	土木学会講堂	65				
第 31 回	2006 年 8 月 30 日	①時を越えて ②次世代のアーチを架ける 他	土木学会講堂	51				
第 32 回	2006 年 10 月 25 日	①昭和49年多摩川狛江猪方地先災害復旧記録 他	土木学会講堂	47				
第 33 回	2006 年 11 月 29 日	①ザイルに架ける ②黎明のキリマンジャロ	土木学会講堂	48				
第 34 回	2007 年 1 月 31 日	①崩れ ②掘るまいか	土木学会講堂	58				
第 35 回	2007 年 2 月 16 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	58				
special ①	2007 年 7 月 11 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	文京シビックホール	45				

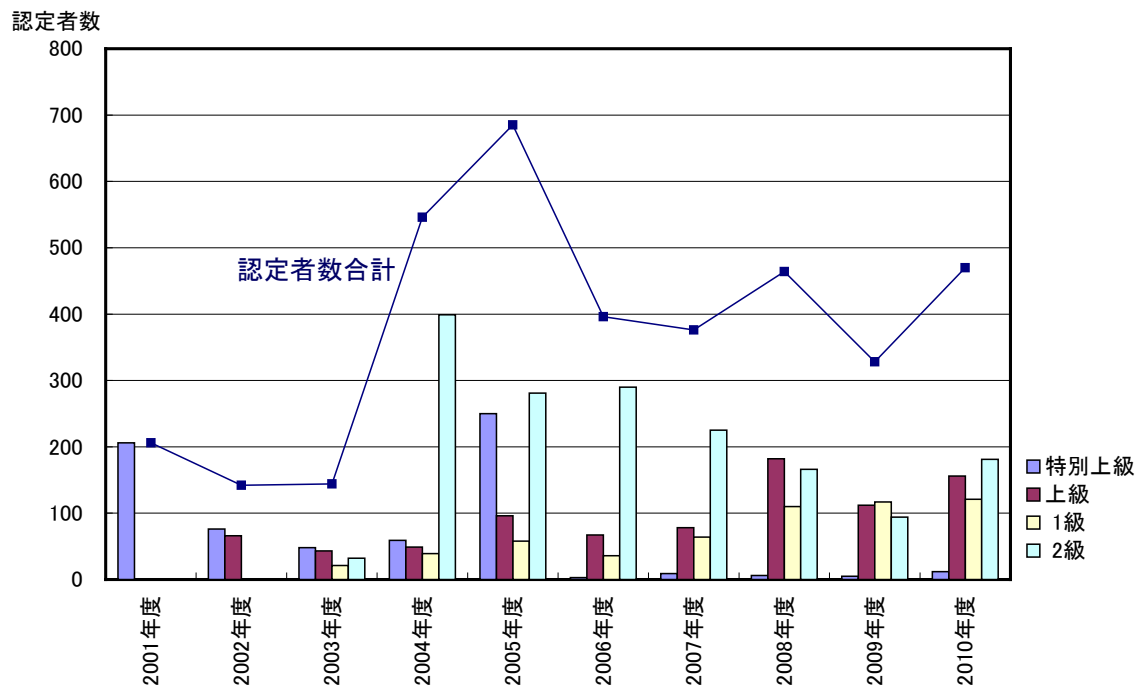
0 100 200 300 400 500 600

イブニングシアター参加者数②

	上映月日	上映作品	上映場所	参加者数
第 36 回	2007 年 7 月 17 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	土木学会講堂	80
第 37 回	2007 年 8 月 29 日	①崩れ ②民衆のために生きた土木技術者たち	土木学会講堂	53
special ②	2007年9月12～14日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	広島大学	545
第 38 回	2007 年 10 月 1 日	①石を架ける～石橋文化を築いた人びと～ 他	土木学会講堂	58
第 39 回	2007 年 11 月 1 日	①東京港に虹をかける 他	土木学会講堂	37
第 40 回	2007 年 12 月 5 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	土木学会講堂	52
第 41 回	2008 年 1 月 30 日	①「水とたたかった戦国の武将たち」 他	土木学会講堂	92
第 42 回	2008 年 5 月 27 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	文京シビックホール	325
第 43 回	2008 年 7 月 9 日	①「本州四国連絡橋～児島・坂出ルート」 他	土木学会講堂	94
special ①	2008 年 8 月 22 日	①人をたすけ国をつくったお坊さんたち 他	文京シビックホール	100
第 44 回	2008 年 8 月 27 日	①「おやとい外国人とよばれた人たち」 他	土木学会講堂	60
special ②	2008年9月10～12日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	東北大学	458
第 45 回	2008 年 10 月 15 日	①「上総掘り」 他	土木学会講堂	77
第 46 回	2008 年 11 月 26 日	①「東京湾アクアライン(総集編)」 他	中央大学	83
special ①	2009 年 1 月 16 日	①佐久間ダム ②黒部の太陽(短縮版)	文京シビックホール	2100
第 47 回	2009 年 1 月 28 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	77
第 48 回	2009 年 3 月 25 日	①黒部川第四水力発電所建設記録 くろよん物語 他	文京シビック小ホール	254
第 49 回	2009 年 5 月 20 日	①崩れ ②飛驒トンネル先進坑工事の記録 他	土木学会講堂	
第 50 回	2009 年 6 月 11 日	①首都高速道路を守れ—疲労き裂対策3000日の軌跡— 他	文京シビック小ホール	168
special ①	2009 年 8 月 3 日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	文京シビック小ホール	285
第 51 回	2009 年 8 月 5 日	①水とたたかった戦国の武将たち 他	文京シビック小ホール	254
special ②	2008 年 9 月 2～4 日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	福岡大学	395
第 52 回	2009 年 10 月 21 日	①昭和34年 伊勢湾台風 他	土木学会講堂	69
第 53 回	2009 年 12 月 2 日	①苦闘海底破砕帯突破 新関門トンネル建設の記録 他	土木学会講堂	88
第 54 回	2010 年 1 月 20 日	①地域の安全を守る—水無川1号砂防ダムの記録— 他	土木学会講堂	96
special ①	2010 年 2 月 1 日	土木技術映像マラソン(連続10本上映) 青函トンネル(本坑貫通)	文京シビック小ホール	125
第 55 回	2010 年 5 月 19 日	①佐久間ダム 総集編 他	土木学会講堂	93
第 56 回	2010 年 7 月 7 日	①福井豪雨映像アーカイブス 他	土木学会講堂	71
第 57 回	2010 年 8 月 4 日	①明日をつくった男 他	土木学会講堂	68
special ②	2010 年 9 月 1～3 日	余部鉄橋の記憶 他19本上映	福岡大学	418
第 58 回	2010 年 10 月 13 日	①復旧の軌跡—阪神・淡路大震災土木施設の災害 他	土木学会講堂	76
第 59 回	2010 年 11 月 24 日	①東京の新しい地下鉄～大江戸線環状部建設工事の記録～ 他	土木学会講堂	111
第 60 回	2011 年 1 月 26 日	①富士山を測る ②余部鉄橋の記憶 他	土木学会講堂	112

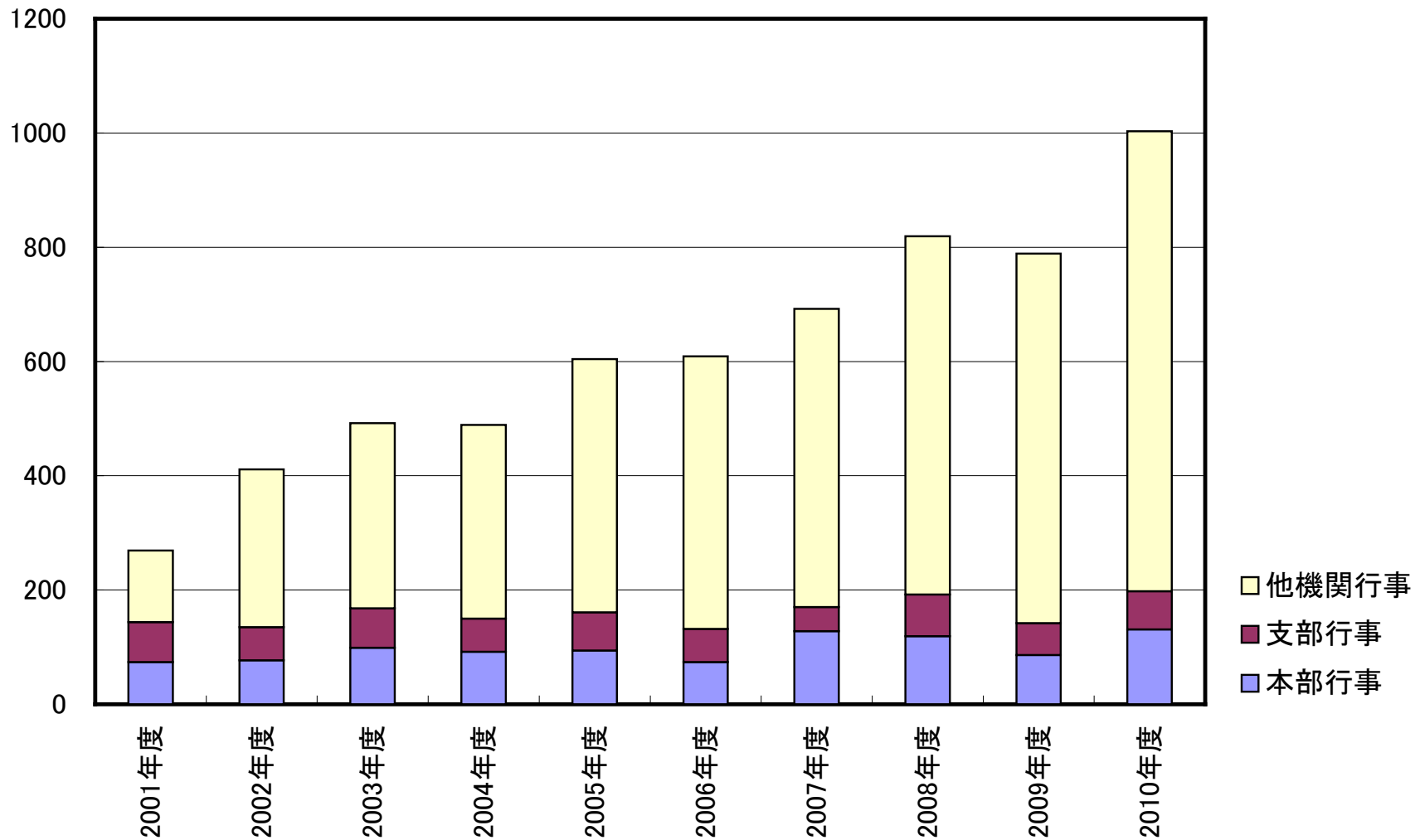
技術者資格 認定者数

	特別上級	上級	1級	2級	合計
2001年度	206				206
2002年度	76	66			142
2003年度	48	43	21	32	144
2004年度	59	49	39	399	546
2005年度	250	96	58	281	685
2006年度	3	67	36	290	396
2007年度	9	78	64	225	376
2008年度	6	182	110	166	464
2009年度	5	112	117	94	328
2010年度	12	156	121	181	470
合計	657	581	328	1,393	2,959



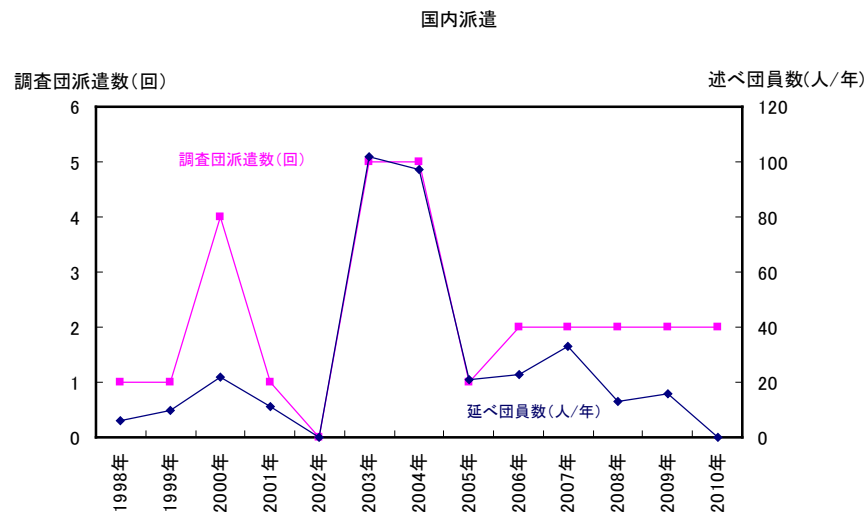
CPD認定プログラムの推移

プログラム数

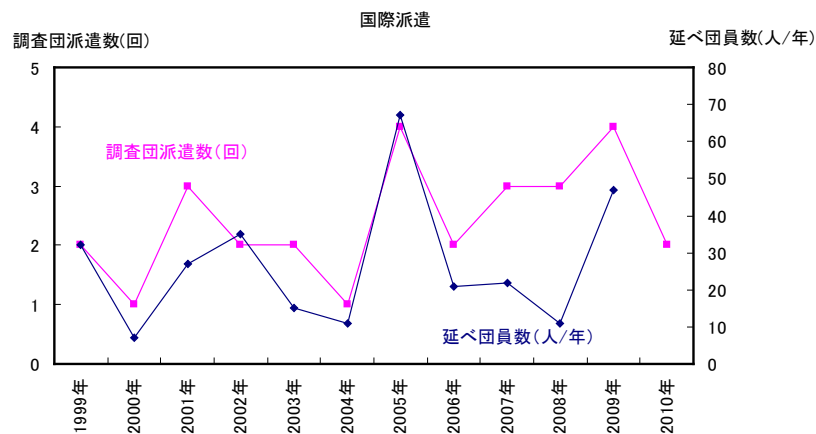


災害調査団派遣実績

国内派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害
2010年	2	-	中国地方豪雨災害、広島県庄原市土砂災害



国際派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾、トルコ
2000年	1	7	メコン河
2001年	3	27	エルサルバドル、インド、ペルー
2002年	2	35	イラン、ヨーロッパ
2003年	2	15	トルコ、アルジェリア
2004年	1	11	イラン
2005年	4	67	スマトラ、アメリカ、パキスタン、インドネシア
2006年	2	21	ジャワ島、スマトラ
2007年	3	22	ペルー、スマトラ、パングラデシュ
2008年	3	11	インドネシア、中国、ミャンマー
2009年	4	47	イタリア、台湾、インドネシア、フィリピン
2010年	2	24	チリ地震、クライストチャーチ地震



小中学校学習支援(理科・社会・総合)

時期	地域	対象学年	タイトル	概要	写真	支援団体
2010年12月	群馬	群馬大学附属小学校6年生	小学6年理科「大地のつくりと変化」における体験学習支援事例	①地震発生の仕組みの学習 ②振動台による液化化現象の学習 ③共振実験による地震の大きさと建物の揺れ方の学習		キッズプロジェクト検討小委員会
2009年6月	埼玉	埼玉県吉見町立西が丘小学校PTA教育部 埼玉県吉見町立西小学校PTA成人教育部	市民を対象とした環境学習支援事例	①自然災害体験車を用いた自然災害(土石流)の擬似体験学習 ②水の汚れ調べ		キッズプロジェクト検討小委員会
2007年7月	神奈川	小学校5年生	砂で学ぼう 砂場プログラム	中庭に構築中のピオトープに川を設けるにあたり、何を考えて川の作成をするべきかを学ぶ。「川の出来るまで」「重力の役割」など。		生涯学習小委員会
2006年6, 7月	栃木	小学校	コンクリートのおはなし	宇都宮大学工学部の大学院生による、「コンクリートの説明(講義)」と「モルタルづくり(実験)」に関する約140分の出前授業。モルタルで壁飾りなどを製作。		関東支部 栃木会
2006年5月	栃木	小学校	環境紙芝居	宇都宮工業高校の土木研究クラブの高校生による、環境問題に関する自作の紙芝居公演(講義)と清涼飲料水のpH試験(実験)を組み合わせた約50分の出前授業。		関東支部 栃木会
2006年3月	奈良	小学校5年生	仕事への思い 有馬太閤橋	「有馬太閤橋」の工事記録ビデオを題材に総合学習の出前講義を実施し、建設業という職業を通して「仕事への思い」を伝えた。		FCC
2005年度	東京	小学校	「川の不思議発見」 —「夢の目黒川」 計画立案	「川とまちの共生」についての講義のあと、児童が考える「夢の目黒川」の計画を取りまとめ、発表会を実施した。		生涯学習小委員会
2005年2月	東京	小学校5年生	新しい舗装と 住みやすい まちづくり	身近な環境の変化から、ヒートアイランド現象について勉強し、実際の透水性舗装材料にふれながら温度低下の効果を体感する。		生涯学習小委員会
2004年7月	京都	小学校3年生	トンネルを調べる	小学校3年生児童25人が、阪神公団が建設中の京都高速道路、新十条通り工事現場を見学し、真っ暗なトンネルやシールドマシンに歓声を上げました。		関西支部
2003年度	大阪	小学校6年生	大地の様子	教科発展型の総合学習として、6年生理科「大地の様子」に関してフィールドワークを行い、地層の観察や化石の採集を行った。		関西支部